



瀬戸内三原  
築城**450**年事業

第2章 事業の記録



▲くす玉を割りメイン期間1年前を祝う関係者



▲県警音楽隊による軽やかな演奏で幕開け

神明市の初日、くす玉割りややさ踊りなどで、1年後に控えた事業の開幕に向けて機運を高めました。広島県警音楽隊の演奏や甲冑武者姿の関係者などにより来場者に築城450年をPRし、成功を祈念しました。

前年、約60年ぶりに復活した「だるま行列」では、三原小学校の児童が手作りのだるまの張り子をかぶり、練り歩きました。また、昭和園の園児たちも行列に参加し、セレモニーを盛り上げました。



▲三原小児童による子どもだるま行列

- 1 オープニング  
広島県警音楽隊演奏
- 2 式辞
  - ①瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会 会長 勝村善博 (三原商工会議所会頭)
  - ②瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会 名誉会長 天満祥典 (三原市長)
- 3 来賓祝辞
  - ・世羅町長 奥田正和 様
- 4 主催者・来賓紹介
  - ・主催者  
瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会 勝村会長他3名
  - ・来賓  
世羅町長 奥田正和 様他16名
- 5 くす玉開披



▲やさ踊りで会場も最高潮

- 6 やさ踊り披露  
三原やさ踊り振興協議会
- 7 子どもだるま行列・お囃子披露  
三原小学校児童、昭和園園児
- 8 エンディング  
広島県警音楽隊演奏

平成28年 (2016年) **2月12日(金)**  
 開催場所 / J R三原駅浮城広場  
 来場者数 / 800人  
 主催団体 / 瀬戸内三原 築城450年  
 事業推進協議会



▲甲冑や武具など貴重な史料を展示



▲題字は前衛書道家藤村満恵さんによるもの

11月5日、JR三原駅前のパシティ三原西館1階にみはら歴史館がオープンしました。

約450㎡の展示スペースを、やさ祭りなど市の年中行事や特産品を紹介する「文化・伝統」、江戸時代に使われた甲冑や武器の模造品などを展示する「城下町」、三原城の模型やしちほこなどを置く「三原城・小早川隆景・歴史」、「ミニ企画展」の4ゾーンに分け、三原の歴史や文化、観光を紹介しています。

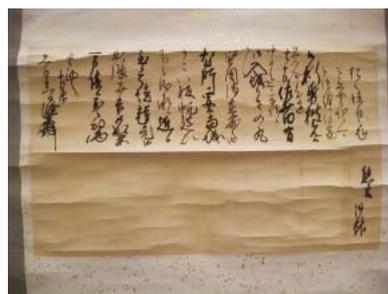
平成28年 (2016年) 11月5日(土)～

開催場所／パシティ三原西館1階  
来場者数／53,970人(平成29年12月現在)  
主催団体／三原市



▲4つのゾーンに分かれた展示施設

当時の三原城の絵図面(複製)、古写真、模型、しちほこ(三原小学校所蔵)など三原城に関係した貴重な史料を展示しています。また、東町西町絵図(複製)の展示、高山城・新高山城模型、三原地方でつくられた刀剣なども展示しています。



▲小早川隆景公の書状



▲みはら雛まつり展(ミニ企画展)

●ミニ企画展

平成28年11月5日～平成29年1月15日

「名醸三原酒」

平成29年1月18日～2月12日

「三原だるま」

平成29年2月20日～3月12日

「第6回みはら雛まつり展」

平成29年3月18日～4月23日

「なつかしの三原情景」

平成29年4月29日～6月18日

「レッツゴーカープ 三原展」

平成29年6月24日～8月20日

「第6回私たちのやさ祭り展」

平成29年8月26日～10月9日

「忠臣蔵と三原展」

平成29年10月14日～11月5日

「武具展」

平成29年11月1日～11月26日

「毛利輝元・小早川隆景書状特別展示」

平成29年11月23日～平成30年1月28日

「みはらの移り変わり展」

平成30年2月9日～3月11日

「第7回みはら雛まつり展」



▲ステージでのやっさ総踊り



▲「三矢の訓」連携による神楽の披露

2月4日「瀬戸内三原 築城450年事業」オープニングセレモニーを開催しました。

14時30分からの開会に、朝10時から一般入場の列ができるほど、注目を集め、会場が満席となる約1,200人が訪れました。

最初に、瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会の福島偉人副会長が築城450年事業の開幕を宣言し、続いて小早川隆景公を分かりやすく紹介した「三原城築城450年記念ドラマ ～知ればもっと好きになる～」を上映。

平成29年  
(2017年) **2月4日(土)**  
開催場所／三原市芸術文化センター ポポロ  
来場者数／1,200人  
主催団体／瀬戸内三原 築城450年  
事業推進協議会



▲昔風やっさ踊りを披露

式典では、三原城の築城を祝って、はじまったともいわれる三原やっさ踊りを、三原やっさ踊り振興協議会が、連れ弾き、昔風、今風でやっさ踊りを披露しました。その後、三矢の訓(おしえ)連携応援神楽として安芸高田市の原田神楽団が土蜘蛛を、北広島町の曙神楽団が「滝夜叉姫」を演じ、満席の会場を魅了しました。

また、今回初めて築城450年事業の場に、小早川家ご当主の小早川隆治さんが出席し、「空襲で、東京の住まいのほとんどの物が、焼けてなくなってしまったが、三原市から築城450年のお話を頂き、再度探してみると焼け残った箱の中から、小早川隆景公ゆかりの品々が見つかり、その一部を三原市へ寄贈したい」とご祝辞をいただきました。



▲あいさつする勝村会長

〔勝村善博会長(三原商工会議所会頭)あいさつ〕

三原城築城450年という記念すべき年を迎えるに当たり、ふるさと三原の魅力さをさらに磨き、新しい三原を創造し、市内外に発信することで、多くの観光客に三原市にお越しただき、観光が三原市を支える産業のひとつとなるように、取り組んでまいります。

〔天満祥典名誉会長(三原市長)あいさつ〕

本年は、築城450年の節目の年を迎える大きなチャンスです。この機会に三原の魅力、資源を見つめ直し「交流人口拡大」に積極的に取り組むとともに、未来に活かし、多くの観光客に来ていただけるよう、多彩な事業を展開してまいります。



▲隆景公の肖像画に見入る入場者



▲没後420年記念の特別展示

小早川隆景公が慶長2（1597）年に亡くなり、420年を迎えるにあたり、「小早川隆景没後420年記念特別展 小早川隆景展」を開催。

隆景公の肖像画、直筆書状、ゆかりの地である新高山城、備中高松城、名島城、肥前名護屋城等の史料を展示し、戦国武将として活躍した隆景公の生涯を紹介しました。



▲小早川家から寄贈されたかぶと

小早川隆景公（幼名・徳寿丸）は、天文2（1533）年に毛利元就公の三男として生まれ、竹原・沼田小早川家の両家を統合し、兄・吉川元春公と共に毛利両川として戦国大名毛利家の発展に尽力します。また、豊臣政権下では、秀吉に五大老の一人として任じられ、政権を担います。また、隆景公は、新高山城に加えて新たに三原城を築城し、慶長2（1597）年の没後まで居城としました。



▲紙本著色備後国三原城下絵図（市重文）

【主な展示品】

- ・小早川隆景肖像画
- ・鉄錆地六十二間小星兜、面頬
- ・備中高松城水攻め絵図
- ・名島城絵図
- ・徳寿丸感状（山田家文書）
- ・豊前今井元長船戦図

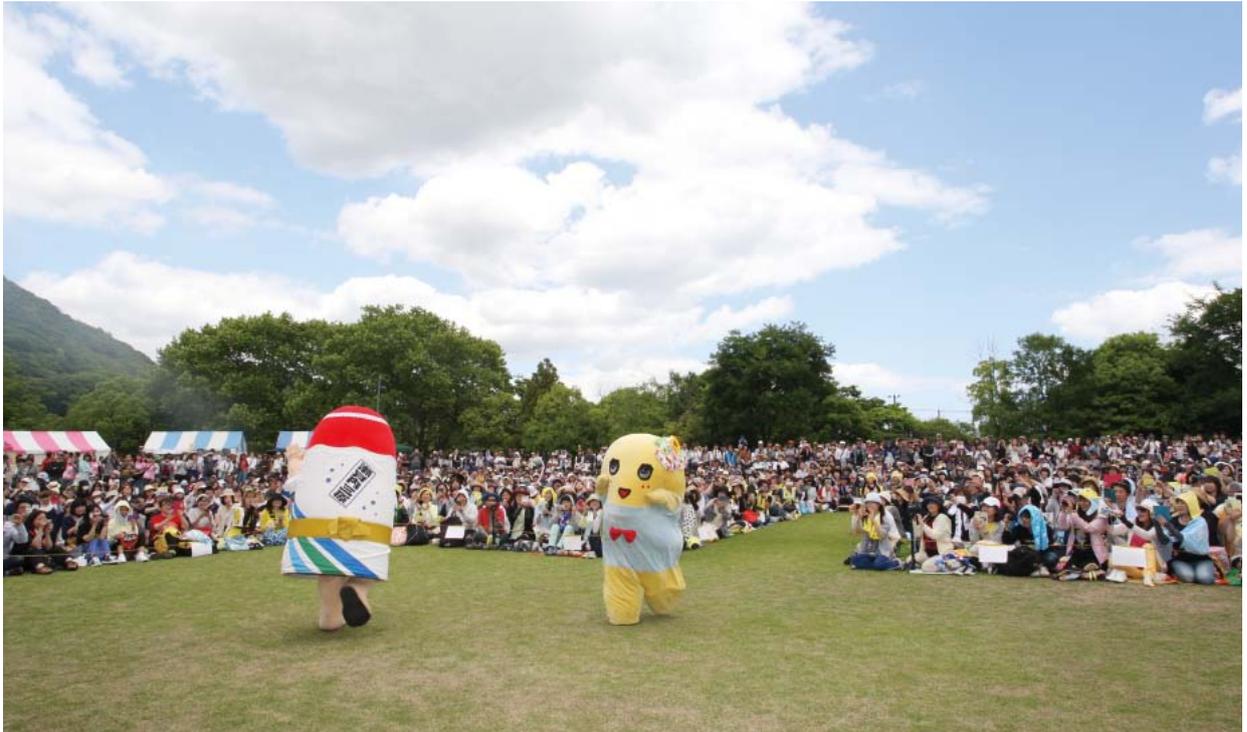
平成29年  
(2017年)

5月19日(金)～7月2日(日)

開催場所／三原リージョンプラザ展示ホール

来場者数／2,578人

主催団体／三原市



▲ふなっしーとやっさだるマンの共演



▲県警音楽隊によるパレード

メインステージでのアトラクションやパレードなど、さまざまな行事が行われました。市の花サツキ、ツツジの鮮やかなピンク色で彩られた祭り会場に多くの来場者が訪れ、特に初日のふなっしーとやっさだるマンとの共演には芝生広場が埋まるほどのにぎわいでした。



▲おいしいグルメいっぱい「喰道楽」

## さつきステージ

- 開会セレモニー
- ビンゴゲーム
- ふなっしー

## 芝生エリア

- 保育フェア
- しまなみしんきん  
わくわくちびっこランド
- エネルギーふれあい広場

## グラウンドエリア

- ふわふわだるま ミハラッキー
- 自然を学ぼう
- ミニ新幹線に乗ろう
- 植物の展示と即売会
- 手作り作品展
- JRブース



▲備後圏域6市2町のBINGOフェス

## ポポロエリア

- 自衛隊音楽隊さつきコンサート
- ポポロを探検してみよう！  
バックステージ・ツアー
- サツキ展示会
- BINGOフェスティバル
- 警察署・防衛省・消防署のブース
- さつき祭りてくてくコース

## さつきパレード

## フワフワドームで遊ぼう

## ご当地キャラ大集合!!

やっさだるマンをはじめ、ご当地キャラが大集合

やっさだるマン／でんちゅうくん(井原市)／ローラ(福山市)／せら坊(世羅町)／カブニ(笠岡市)／ええにゃん(尾道市)／ミンチュー(府中市)

平成29年  
(2017年)

5月27日(土)～28日(日)

開催場所／三原市芸術文化センター ポポロ

来場者数／110,000人

主催団体／三原さつき祭り実行委員会



© 2018「やっさだるマン」製作委員会



© 2018「やっさだるマン」製作委員会

三原城築城450年を記念して制作。大森研一監督が6年前に、映画「瀬戸内海賊物語」のロケ地探しで三原市を訪れたことをきっかけに、映画「やっさだるマン」を制作することになりました。

三原での映画製作の機運が高まり、「三原映画をつくる会」が発足。大森監督は毎年三原市を訪れ、やっさ踊りや神明市など各種行事に参加。本作品は「オール三原ロケ」で、のべ400名もの市民エキストラも参加、まさに「瀬戸内三原 築城450年」の三原市を永遠に残す記念すべき作品となりました。

平成30年2月12日(月・祝)には、芸術文化センター「ポポロ」で先行上映会(監督・出演者舞台挨拶付き)を開催しました。

監督・脚本 大森 研一  
出演 佐藤 永典  
須藤 茉麻  
竹達 彩奈  
宮川 一朗太  
野々村 俊恵  
清水 美沙  
目黒 祐樹 ほか

平成29年  
(2017年) 6月～12月  
開催場所／三原市内  
参加者数／－  
主催団体／三原映画をつくる会

※ゆるキャラ®「ゆるキャラ」は、みうらじゅんの著作物であると共に扶桑社、及びみうらじゅんの登録商標です。



▲88匹のタコのつかみ取りに悪戦苦闘する子どもたち



▲書道パフォーマンス

白竜湖スポーツ村公園駐車場で、(一社)三原青年会議所愛と誇りの持てるまち創造委員会による企画「三原の魅力は無限大 MIHARAオクトパークinだいわ」を開催しました。MIHARAオクトパークは、三原の魅力であるタコをテーマにもっと三原のまちを好きになってもらいたいとの思いで開催しました。



▲大和中「吹奏楽部」による演奏

- ・書道パフォーマンス  
如水館中学高等学校書道部による書道パフォーマンス披露  
三原をテーマに「豊かな自然と歴史の街」「里山の緑つながる空」などを表現
- ・吹奏演奏会  
三原市立大和中学校吹奏楽部による「カルカソヌの城」、「さくらんぼ」「情熱大陸」の演奏
- ・スペシャルトークショー  
「三原のまちを考えるトークショー」として柏村武昭さん、よしもと住みます芸人フロントラインによるトークショー
- ・甲冑着付け体験  
甲冑着用体験、記念撮影など



▲三原タコ体操を披露

- ・やささだるマンとレッツ体操！  
～三原タコ体操～  
三原城築城450年を記念して考案されたタコ体操をやささだるマンと一緒にダンス
- ・タコのつかみ取り体験  
88匹のタコをつかみ取り。子どもたちがぬるぬるして吸盤の力も強いタコのつかみ取りに挑戦しました。突然の雨にもかかわらず大盛況でした。
- ・グルメブース  
本郷、久井、大和などから14店が出店。タコ焼き、タコ天、タコ飯、から揚げなどの定番からタコクレープまでバラエティに富んだメニューが並ぶグルメブースも好評でした。

平成29年  
(2017年) **7月29日(土)**  
開催場所／白竜湖スポーツ村公園駐車場  
来場者数／3,500人  
主催団体／瀬戸内三原 築城450年  
事業推進協議会



▲みんな笑顔で「やっさ、やっさ」



▲ステージ前で伝統の踊りを披露

三原城の築城を祝って踊られたといわれる、やっさ踊り。「やっさ、やっさ」の掛け声に、総勢151チーム、約7,000人が参加。約45万人の人出でにぎわいました。今回は、三原城築城450年記念として「築城450年！メモリアル・ハッピーパレード」を行いました。東京ディズニーリゾート®の人気キャラクター「ダッフィー」のぬいぐるみと同じ素材でラッピングされた「ダッフィーバ



▲唄、三味線、太鼓などの地方

ス」が三原駅前市民広場に展示され、写真撮影など、50,000人を超える方が集まりました。最終日のやっさ花火フェスタでは、西日本最大級の2尺玉花火を含む約5,000発を打ち上げ、3日間の祭りのフィナーレを飾りました。



▲三原城跡と2尺玉花火

11日

- バリシャキNOWスペシャルinやっさ祭り(ラジオ)
- 子どもやっさ踊り
- 創作やっさ踊り・正調やっさ踊り

12日

- 築城450年！メモリアル・ハッピーパレード
- YASSA DANCE BATTLE 2017
- 正調やっさ踊り
- 湯河原やっさ踊り
- 東京ディズニーシー®「ダッフィーバス」展示

13日

- JAZZ フェスタ in 三原やっさ
- やっさ花火フェスタ  
西日本最大級の2尺玉花火の打ち上げ

平成29年  
(2017年)

8月11日(金)~13日(日)

開催場所/三原駅前市民広場ほか  
来場者数/400,000人

主催団体/三原やっさ祭り実行委員会



▲特別にデザインされた車両を先頭に記念パレード



▲駅前市民広場に展示されたダッフィーバス

三原城築城450年を記念して「築城450年！メモリアル・ハッピーパレード」を開催し、ミッキーマウスをはじめとした、ディズニーの仲間たちが、夢と魔法を届けるために東京ディズニーリゾート®を飛び出し、市内の小学生とともに東京ディズニーリゾート®スペシャルパレードで盛り上げました。三原駅前を中



▲YAYOIバトンスクールの皆さん

心としたやっさ踊りコースには55,000人がパレードを見守っていました。

・YAYOIバトンスクールによるパレード  
生徒約40人による、バトンとカラーガードによるパレード。



▲約60人のキッズダンサー

・東京ディズニーリゾート®・スペシャルパレード

ディズニーの仲間たちは、東京ディズニーリゾート®ならではの特別なデザインが施されたパレード用の車両「ドリームクルーザーⅡ」と「ドリームクルーザーⅢ」に乗って登場し、キッズダンサーとして地元小学生58人が加わり、楽しさいっぱいのパレードとなりました。

平成29年  
(2017年)

8月12日(土)

開催場所／三原やっさ祭り踊りコース(浮城西通り 西3番ガード(南) 交差点～浮城東通り 東2番ガード(南) 交差点西側)

来場者数／55,000人

主催団体／瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会



▲総勢約130人による練り歩き



▲全自動無人運転車両「AGT」のパレード

瀬戸内三原 築城450年事業のフィナーレを飾る「三原浮城まつり」。三原駅前市民広場、三原港ステージのほか、三原城跡歴史公園に特設会場を設けて、さまざまなイベントを実施しました。祭りのメインイベントである小早川甲冑部隊の練り歩きには、安芸高田市、北広島町、尾道市からの援軍や、三原二之丸会、子どもたちによる手作りダンボール甲冑隊も加わり総勢130人の行列



▲恒例となった神楽は大人気

に。さらに「安芸ひろしま武将隊」やサンフレッチェ広島アンバサダーの森崎浩司さんも参加しました。各会場から三原城跡歴史公園に集結した後、全軍で三原駅前市民広場をめざして進軍し、メインステージでの勝どきに、会場は大いに盛り上がりました。

三原駅前市民広場ではタコグルメの販売のほか、メインステージでは三矢の訓の地である北広島町、安芸高田市の神楽の上演、安芸ひろしま武将隊の演舞、餅まきなどを行いました。

5日には、全自動無人運転車両の「AGT」が三原駅前をパレードし、駅前市民広場横に展示して、来場者の注目を集めました。



▲ランタンの展示

三原城跡歴史公園ステージでは、けん玉イベント、サンフレッチェ広島アンバサダーの森崎浩司さんによるキックターゲット、三原市ふるさと大使「にゃんたぶう」のパフォーマンス、ランタンの展示などを行いました。

5日、17時から、三原城のお堀にかがり灯をともす「三原城 かがり灯の祭典」を開催し、フィナーレを迎えました。

平成29年  
(2017年)

11月4日(土)・5日(日)

開催場所 / 三原駅前市民広場、三原城跡歴史公園ほか

来場者数 / 150,000人

主催団体 / 三原浮城まつり実行委員会



▲広島三原間を走った臨時列車「サントレノ」



(一社)三原観光協会とひろでん中国新聞旅行が共同企画した「武将列車サントレノ」の直通貸切臨時列車。「第14回三原浮城まつり」に併せて、広島(広島駅・西条駅)、呉(呉駅)、岡山(岡山駅・福山駅)の3方面から三原駅まで運行しました。

平成29年(2017年) 11月5日(日)  
開催場所/各駅～三原駅  
来場者数/321人  
主催団体/(一社)三原観光協会



▲安芸武将隊によるセレモニー

JR山陽本線広島三原間で運行された臨時列車は、「サンフレッチェ広島応援ラッピングトレイン」と「カープ応援ラッピングトレイン2017」の車両を連結した8両編成。ヘッドマークには、瀬戸内三原築城450年事業のロゴマークのデザインを使用し、みはら歴史館でも展示されました。

安芸広島武将隊が車内でセレモニーを行った後、三原城築城450年の歴史の語りや沿線のガイドを聞きながら、列車の旅を楽しみました。

三原駅到着後は、「三原浮城まつり」を自由散策したほか、オプションツアーへ参加することもできました。



▲三原駅で出迎える関係者

- ①毛利隊広島号  
広島駅→西条駅→三原駅
- ②吉川隊呉号  
呉駅→三原駅
- ③小早川隊  
岡山駅→福山駅→三原駅  
・オプションツアー
- ①歴史コース  
A 三原城とまちなみ散策  
B 佛通寺と御調八幡宮散策
- ②グルメコース  
ホテルランチと八天堂見学
- ③多島美コース  
A 大久野島うさぎ  
B 三島水軍ゆかりの地を巡る



▲三原市公立中学校生徒会連合会による未来宣言



▲幸崎中による「獅子太鼓」

11月5日、「瀬戸内三原 築城450年事業」クロージングセレモニーを開催しました。三原市立幸崎中学校郷土芸能班が伝統芸能の「獅子太鼓」を披露した後、築城450年事業で実施したさまざまなイベントや関係者のインタビューなどの映像で、これまでの事業を振り返りました。

式典では、三原城天主台堀のにぎわい創出に対し、多大な貢献をされた株式会社阪井養魚場と広島経済同友会三原支部に、勝村会長が感謝

平成29年 11月5日(日)  
(2017年)

開催場所／三原リージョンプラザ文化ホール  
来場者数／400人

主催団体／瀬戸内三原 築城450年  
事業推進協議会



▲感謝状を受けとる小早川隆治さん

状を贈呈しました。さらに、市の文化振興のため、所有する歴史史料の一部を寄贈された小早川家ご当主、小早川隆治さんに天満市長が感謝状を贈呈しました。続いて、築城500年へのメッセージとして、市内の公立中学校11校でつくる生徒会連合会のメンバーが「50年後の築城500年に向け、三原に暮らす人々はもちろん、誰もが笑顔になれる三原をめざして、共に行動していく」と未来に向け、力強く宣言しました。

また、三原市立三原小学校の児童が三原市歌などを披露し、瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会の福島偉人副会長の閉幕宣言でセレモニーを終了しました。

※未来宣言は11ページに記載



▲三原小による合唱

第一部 伝統芸能披露

- ・「獅子太鼓」三原市立幸崎中学校 郷土芸能班
- ・映像で振り返る築城450年事業

第二部 式典

- ・式辞、来賓祝辞
- ・来賓紹介
- ・感謝状贈呈  
株式会社阪井養魚場 様  
広島経済同友会三原支部 様  
小早川隆治 様
- ・築城450年へのメッセージ  
三原市公立中学校生徒会連合会  
①50年後への未来宣言  
②50年後へのメッセージ
- ・合唱、三原市歌斉唱  
三原市立三原小学校
- ・閉幕宣言

歴史に精通した専門家が独自に持っている資料や知識をもとに、小早川隆景公に関する深い話を聞くことができました。



平成27(2015)年  
6月7日(日)～  
■開催場所  
三原リージョンプラザ  
■来場者数 2,477人  
■主催団体  
三原市教育委員会文化課

- ・平成27年度
- ①6/7(日)「小早川隆景の生涯」  
広島大学大学院文学研究科 教授 本多博之さん
- ②7/26(日)「隆景の小早川家相続と毛利家」  
県立広島大学人間文化学部 教授 秋山伸隆さん



- ▲小早川家相続について語る秋山教授
- ③8/2(日)「小早川隆景と肖像画」  
広島市立大学国際学部 准教授 城市真理子さん
- ④8/23(日)「小早川隆景の城郭普請」  
佐賀大学全学教育機構 教授 宮武正登さん
- ・平成28年度
- ①6/12(日)「小早川隆景の戦国時代史」  
広島大学 名誉教授 岸田裕之さん
- ②6/26(日)「小早川隆景と村上海賊衆」  
松山大学法学部 教授 山内護さん
- ③8/7(日)「小早川隆景と城・社寺建築」  
広島大学総合博物館 学芸職員 佐藤大規さん
- ④8/21(日)「小早川隆景と豊臣政権」  
國學院大學文学部 教授 矢部健太郎さん

江戸時代に始まった「二十三夜祭」が起源とされる歴史ある夏祭り。ステージイベントのほかジャズ演奏に併せた2,016発の花火の打ち上げなどを行いました。



▲ステージ前へ集結した武者隊



▲約60人による武者行列



▲2,016発の花火

平成28(2016)年  
7月23日(土)  
■開催場所  
三原市本郷支所周辺  
■来場者数 25,000人  
■主催団体  
沼田本郷夏まつり  
実行委員会

甲冑着用の大人と手作りの段ボール甲冑を着用した小学生、さらに三原二之丸会、総勢



▲やっさ踊りを披露  
約60名による武者行列が行われました。また、小早川隆景公にまつわる逸話をテーマとした仮装コーナー、顔出し看板を来場者は楽しんでいました。総合技術高校の吹奏楽、安芸本郷太鼓などのステージイベントのほか、商店街ではやっさ踊り、みこし太鼓、子ども神輿などを行いました。

大河ドラマ「毛利元就」でタイトルバックに使用された「女王滝」と壮大なスケールの「瀑雪の滝」、かつて小早川隆景公が父元就を招いて宴を催したという「棲真寺」を訪れました。

**モニターツアー**  
女王滝・瀑雪の滝  
滝めぐりと棲真寺

ツアーのポイント  
年輩は1000年前の先づかやまの毛利氏として、毛利元就にまつられた「女王滝」と壮大なスケールの瀑雪の滝に2箇所見学。マリアスライム池に1匹にだけ生きているという、昔話から小早川隆景公の足跡を探して宴を催したと伝わる歴史あるお寺です。「おのれ」でも知られるお寺では「蓮の花」を拝観していただくほか、海の歴史文化を伝える「こいのぼり」も観覧いただけます。

定員 40名  
参加費 3,000円

日 2016年 7月30日(土)  
時 7:30±

集合 三原駅西口(隆景広場) 9:00受付 9:30出発

旅行代金 (お一人様) 3,000円

【お楽しみ】  
三原駅 隆景広場(3分) 女王滝  
瀑雪の滝 三原市の森公園(徒歩10分)  
三原駅 隆景広場(徒歩10分)

ご予約受付中 ☎0848-67-5877



▲瀑雪の滝



▲蓮の花で有名な棲真寺

平成28(2016)年  
7月30日(土)

- 開催場所 女王滝、棲真寺ほか
- 来場者数 32人
- 主催団体 瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会

棲真寺では、県の重要文化財に指定されている「二十八部衆像」を見学したほか、蓮の花を観賞しました。

- 1 行程 三原駅隆景広場～女王滝～瀑雪の滝～果実

の森公園(昼食)～棲真寺(仏像見学と蓮の花観賞)～道の駅みはら神明の里～三原駅隆景広場

- 2 旅行代金 一人3,000円

中国地方を代表する夏祭りの三原やっさ祭り。翌年の三原城築城450年を祝うプレ企画としてさまざまな催しを行いました。

やっさ花火フェスタでは、中四国最大級の2尺玉花火を含めた約5,000発を打ち上げました。



▲4500人の総踊り。「やっさレッドプロジェクト」



▲武将キャラクターとやっさだるマンの共演



▲中四国最大級の2尺玉花火

平成28(2016)年  
8月12日(金)～14日(日)

- 開催場所 三原駅前市民広場周辺、糸崎沖
- 来場者数 400,000人
- 主催団体 第41回三原やっさ祭り実行委員会

初日の12日のメインステージでは、三原城築城450年前祝いとしてご当地キャラクター武将隊が出演。2015ゆるキャラグランプリ®で優勝した「出世大名 家康くん」などの武将キャラクターとやっさだるマンが共演し、会場を盛り上げました。

築城450年事業前祝企画「4,500人の総踊り」～やっさレッドプロジェクト～

8/13(土)17時から18時まで4,500人が総踊りを行い、参加者全員で赤いうちわを掲げて三原駅前を真っ赤に染め、翌年の築城450年を盛大に前祝いしました。

瀬戸内の多島美を陸、海上から体感できるツアーを実施しました。佐木島では、今注目の海浜セラピーの説明があり、新藤兼人監督映画「裸の島」の舞台となった宿禰島や小佐木島など瀬戸内の島々を高速船「ゆきひめ」でクルージング。再生古民家に興味を示す参加者が多くおられました。

平成28(2016)年  
9月19日(祝・月)

- 開催場所  
佐木島、みはらし温泉、道の駅みはら神明の里
- 参加者数 23人
- 主催団体  
瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会



▲海上からの景色



▲さざしまを愛するボランティアガイドと記念撮影

- 1 行程  
三原港～鷺港～大野浦海岸～鷺港～クルージング～向田港～鷺浦コミュニティセンター(昼食)～クルージング～須波港～みはらし温泉～三原駅
- 2 旅行代金  
一人4,500円

クルージングのほか、佐木島ではわけぎ、ひじきなど地元の食材を使った「さざしま御膳」を昼食で味わいました。船内では、三原二之丸会が甲冑姿で歴史講座を行い、参加者の関心を集めていました。その後、みはらし温泉で入浴を楽しみました。

築城450年をきれいな三原城跡で迎えるために、普段は水が入っている濠ですが、導水管延長工事で水を抜いたのに併せて、清掃を行いました。

平成28(2016)年  
10月1日(土)

- 開催場所  
三原城天主台跡濠
- 参加者数 323人
- 主催団体  
広島経済同友会三原支部



▲水を抜いた濠に入って清掃活動

お濠の中に入れるとても貴重な機会とあって、予想をはるかに上回る市民がボランティアとしてかいぼり隊に参加しました。

小雨降るぬかるみの中を、参加者は空き缶・ペットボトル、陶器や瓦の破片などを拾い、清掃しました。

最後は、笑顔で「450」の人文字を作り、ドローンを使って記念撮影しました。



▲323人のボランティアが濠をきれいに



▲参加者による「450」の人文字



西日本3大牛馬市で栄えた久井町。牛市でのにぎわいの再現のほか、恒例の牛そり逆転レースなどが行われました。

前日からの雨も止み、当日は多くの方の来場がありました。



▲ 隆景公の寸劇も披露



▲ 坂井原地区の盆踊り



▲ 祇園踊りと獅子舞



▲ 家族揃って楽しめるイベントが盛りだくさん

平成28(2016)年  
10月23日(日)

- 開催場所  
久井保健福祉センター  
及び文化センター周辺
- 来場者数 2,900人
- 主催団体  
久井!さわやか高原祭り  
実行委員会

祇園踊りと獅子舞、久井牛馬市の再現、坂井原自治区が盆踊りを披露しました。

羽倉城主・末近四郎三郎信賀物語と小早川隆景公の久井稲生神社再建や甲冑パレードを行い、翌年の三原城築城450年のプレイベントとして来場者の注目を集めていました。

三原城築城450年100日前イベントとして、安芸ひろしま武将隊・名古屋おもてなし武将隊・熊本城おもてなし武将隊が集結し、ステージパフォーマンスや会場内の練り歩きで来場者を楽しませていました。



▲ 圧巻の甲冑練り歩き



▲ 特産物のタコを使ったグルメブース

平成28(2016)年  
11月5日(土)~6日(日)

- 開催場所  
三原駅前市民広場
- 来場者数 118,000人
- 主催団体  
(一社)三原観光協会

小早川甲冑部隊と北広島町の龍南神楽団が祭りを盛り上げ、翌年2月から始まる築城450年事業メイン期間への機運の醸成につながりました。

駅前市民広場では、三原市特産のたこを使ったお店や、浮城広場では、子どもに大人気のミニ新幹線のにぎわっていました。

## 第2章 事業の記録 イベント編

「三原浮城まつり」の日程に合わせて、1泊2日の「毛利三兄弟」ゆかりの地をめぐるモニターツアーを実施しました。毛利元就公の長男・毛利隆元公の安芸高田市、次男・吉川元春公の北広島町、そして小早川隆景公の三原を訪れそれぞれの歴史・文化にふれました。

平成28(2016)年  
11月5日(土)～6日(日)

- 開催場所  
安芸高田市、北広島町、三原市
- 参加者数 21人
- 主催団体  
瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会

「瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会」特別企画！  
24名様限定！「三原浮城まつり」と毛利三兄弟ゆかりの地めぐり

1日 毛利三兄弟ゆかりの地めぐり  
2日 三原浮城まつり

1名物「タコ料理」の夕食

1万円 1名1室も同旅行代金  
コース番号 A6191-092 11月5(土) 11月6(日) 土曜出発

- 1 行程
  - 1日目  
広島駅～北広島町(戦国の庭歴史館・吉川元春館跡)～安芸高田市(昼食、歴史民俗博物館、郡山城跡等)～三原市(宿泊)
  - 2日目  
三原市内(城跡、宗光寺などを地元ガイド



▲安芸高田市歴史民俗博物館



▲アゼリアガイドと城下町三原を散策

- と散策)～三原浮城まつり(武者行列見学)～みはら歴史館～道の駅みはら神明の里～広島駅
- 2 旅行代金  
一人10,000円

冬の夜にきらめくイルミネーション。芸術文化の発信拠点である「ポポロ」の芝生広場や中庭に光の海が広がり、三原城をイメージしたオブジェが登場しました。

平成28(2016)年  
11月5日(土)

2017年(平成29年)  
1月8日(日)

- 開催場所  
三原市芸術文化センターポポロ
- 来場者数 9,000人
- 主催団体  
三原市芸術文化センターポポロ



▲屋根には左三つ巴の小早川家の家紋を投影

縦約30m、横約50mにわたって青の電球を敷き、瀬戸内海を再現。約3万個の発光ダイオード電球と総延長約1kmの筒状のライトで照らしました。

ドームの屋根には、小早川家の家紋左三つ巴、建物には折り鶴が投影されました。

点灯の日には、子どもへ風船や光グッズのプレゼントがあったほか、ハワイエでは、広島三育学院のハンドベルの癒しの音色で一足早いクリスマス気分を味わうことができました。

ポポロでのイルミネーション終了後、三原駅前市民広場に場所を移して、平成29年1月



▲広島三育学院によるハンドベル演奏



▲駅前市民広場に移設展示

26日(木)から3月26日(日)の18時～23時の間、展示点灯しました。



三原の歴史あるお寺を「巡って学んで楽しめる」イベント「お寺のがっこう」。住職と直接話すことができる写経体験をはじめ、着付けや風呂敷の包み方講座など、和の文化を楽しく学びました。



▲住職とともに写経を体験

法常寺の最高のロケーションを活かして、舞台写真などを手がけるカメラマン坂口垂耶さんによる写真撮影が行われました。

着物の着付けと一緒に行われていたのは、呉服店「永藤さん」による風呂敷講座です。

また、もうひとつの人気講座が講師の榎原寛子さんを招いての自力整体。年齢、体の硬さ、体力、運動神経は関係なく、自分のペースでゆっくり行えるのが最大の魅力で、肩こり、腰痛、頭痛、便秘などのお悩みがある方に好評でした。

お寺という非日常的な空間で、ゆっくり時間が過ぎる中、さまざまな体験ができる3日間でした。朱印帳を買われた方は、これをきっかけに、ぜひお寺巡りを。



▲着付けしてもらってお寺巡り



▲マイペースで行うことができる自力整体



平成29(2017)年  
1月7日(土)~9日(月)

- 開催場所 法常寺
- 参加者数 510人
- 主催団体 みはらWEフェス事務局

江戸時代の三原城周辺の様子を一部再現した、三原城跡歴史公園の整備が完了し、完成記念式典が開催されました。江戸時代の絵地図や発掘調査を基に約3,800平方メートルにわたり整備。堀の北側に後藤門の石垣、西側に長屋門跡の石列が復元されました。西国街道があった堀沿いは、街道をイメージした遊歩道が整備され、休憩施設として長屋門風の東屋、トイレも新設されました。



▲式辞を述べる天満市長

- 1 記念演奏 安芸本郷太鼓「現双龍(あらそうりゅう)」
- 2 記念式典
  - ・式辞 天満祥典市長
  - ・感謝状贈呈(三原浮城ライオンズクラブ)
  - ・来賓祝辞(市議会議員 梅本秀明 様、文化庁記念物課課長補佐 田中康成 様)
  - ・来賓紹介
  - ・くす玉割り



▲くす玉を割り完成を祝う関係者



▲安芸本郷太鼓の演奏で開式

- 3 見学会  
学芸員による公園内ガイドツアー
- 4 ライトアップ点灯式(18時から)  
天主台、石垣のライトアップ

平成29(2017)年  
2月4日(土)

- 開催場所 三原城跡歴史公園
- 来場者数 173人
- 主催団体 三原市教育委員会

備後路に春の訪れを告げる神明市。約500の露店が軒を連ね、毎年30万人の出でにぎわうお祭りです。



▲シンボルの大だるま

神明市のシンボルとなっているのは、何といても大だるま。高さ3.9m、重さ500kgもあるだるまが、毎年、多くの人出を見守るように鎮座しています。

三原神明市協賛会が初めて販売する今治ブランドのオリジナルマフラータオルは、祈合



▲三原小の子どもだるま行列



▲オリジナルマフラータオル

格の文字を中心に、「神明だるま」と「やさいだるまん」がデザインされ、瀧宮神社で合格祈願済みの縁起の良い商品です。白地、赤地の各450枚で限定販売しました。

平成29(2017)年  
2月12日(金)~14日(日)  
■開催場所 JR三原駅北側一帯  
■来場者数 319,900人  
■主催団体 三原神明市協賛会

「毛利家文書」によると、永禄4(1561)年3月に小早川隆景公が新高山城に父・毛利元就と長兄・隆元を招待した際、毛利父子は大和町・棲真寺を経由して本拠地・郡山城に戻ったとされています。

その古道の一部を歩くウォーキングイベントを開催しました。



▲三原二之丸会を先頭に新高山城跡を登山



▲棕梨氏居城を見つめる参加者



▲毛利父子が歩いたかもしれない古道

平成29(2017)年  
3月19日(日)  
■開催場所 大和町棕梨~姥ヶ原までの古道, 新高山城址  
■参加者数 47人  
■主催団体 大和町ふるさと文化愛好会

行程

棕梨城跡~姥ヶ原~棲真寺~バス移動~新高山城跡  
・参加費  
高校生以上1,000円 小・中学生500円



お寺のがっこう2学期を三原城跡周辺の8つのお寺で開催しました。

写経体験や坐禅体験のほか、太極拳・裁縫教室など、たくさんの講座が行われました。お寺での開催は、普段とは違った時間の流れを感じ、心が落ち着くイベントとなりました。



平成29(2017)年

4月1日(土)~9日(日)

■開催場所

法常寺・宗光寺・順勝寺・金山寺・萬福寺

■参加者数 500人

■主催団体

みはらWEフェス事務局

陶芸教室では、そばちょこを手びねりで作りました。土を細長く伸ばし、積み上げていき形を整え、スタンプを押し、色を塗って完成させました。小さな子どもから大人まで楽しんでいました。

三原と世羅のおいしい食材でつくる「ミハラ



▲特別展示された御軸



▲手の力だけでつくるそばの器

ツセカレー]や大和白亀れんこんなどを販売しました。期間中、お寺に伝わる御軸、証書などの特別展示も行い、来場者からは「普段は見ることのできない御軸を見ることができてよかった」など、三原の歴史や文化に親しむきっかけとなりました。

白竜湖畔に咲く千本桜に勝るとも劣らない“白竜湖花火”の感動を多くの方と分かち合うために開催しました。

日本全国の有名花火師10社20発(5号玉)からなる、おもてなし花火や音楽花火などで、4月開催の珍しい花火大会は大盛況でした。



平成29(2017)年

4月8日(土)

■開催場所

白竜湖スポーツ村公園

■来場者数 8,000人

■主催団体

白竜湖花火実行委員会

湖畔沿いの約1千本の桜。一石橋から花火会場までの桜並木をライトアップ。

今回は、三原城築城450年事業のPRとして、白竜湖花火実行委員会で制作した「三原築城450年」という文字照明も点灯しました。



▲文字照明で450年記念事業をPR



▲小雨もやんで大盛況の花火大会

露店会場では、三原市内から31団体が出店したほか、会場近くの道の駅「よがんす白竜」では野外ジャズライブ、ドラムサークルの演奏などがありました。

菜の花アイランドウォーキング

連携

佐木島の周回道路沿いに点在する耕作放棄地を再生し、菜の花を咲かせようと、島民有志と地元の子供達と一緒に、整地から種まきなどを行いました。

見事に再生した菜の花畑は、島民や来島者の目を楽しませてくれました。



島の周回道路となる県道沿線の耕作放棄地を優先して花畑に再生するため、ボランティア、小学生なども参加して耕運機、種植機で土壌改良、整地、種まきを行いました。



▲児童による種植え



平成29(2017)年

4月～11月

■開催場所  
佐木島

■参加者数 1,300人

■主催団体  
元氣さざしま協議会

最終年度となった講演会。晩年の隆景公の姿をさまざまな視点で取り上げました。



▲毎回、多くの聴衆でいっぱい会場



▲博多の復興について語る大庭所長



▲隆景公とその家臣について語る本多教授

平成29(2017)年

5月7日(日)～

■開催場所  
三原リージョンプラザ  
文化ホール

■来場者数 1,296人

■主催団体  
三原市教育委員会  
文化課

平成29年

①5/7(日)「小早川隆景の伊予支配-領土拡張と統治の実態に迫る-」

三重大学教育学部・地域イノベーション学  
研究科 教授 藤田達生さん

②5/28(日)「小早川隆景と名島城・博多」

福岡市埋蔵文化財センター 所長 大庭康  
時さん

③6/4(日)「蓮台に乗った小早川隆景-米山寺の「鍊供養」-」

美術史家 關信子さん

④6/18(日)「三原隠退後の隆景と家臣・家族、そして社会」

広島大学大学院文学研究科 教授 本多博  
之さん

小早川隆景ものがたり講演会(平成29年度)

三原市



隆景公の遺徳をしのび、茶道を通じて地域の文化的向上を目的に開催した茶会。三原城、小早川隆景公、歴代三原城主に関係した道具組で、抹茶やお菓子を味わえる席を設けました。



▲茶会に参加された小早川隆治さん(中央)



▲会場には甲冑なども展示

②徳寿会第14回隆景公茶会

5/14(日)開催  
濃茶席・薄茶席・点心席 三席2,500円  
参加流派：表千家流、裏千家流、速水流

平成29(2017)年  
5月13日(土)、14日(日)  
■開催場所  
三原城跡歴史公園、ペ  
アシティ三原西館2階  
■来場者数 700人  
■主催団体  
三原二之丸会、徳寿会

当日は小早川家ご当主の小早川隆治さんも東京から参加し、多くの来場者が茶会を楽しみました。

①三原二之丸茶会  
5/13(土)、14(日)開催  
本席・体験席 一席500円

広島経済同友会三原支部では、5年前から「みはら鯉の城下町」構想を提言し、魅力ある三原の歴史や文化の発信などに取組まれてきました。平成28年10月に開催した「かいぼり」(天主台跡濠清掃活動)では、雨の中300人を超える市民などが集まりました。



▲関係者による放流



▲放流した色鮮やかな錦鯉



▲7月24日にはハート模様の錦鯉4匹を追加放流

平成29(2017)年  
5月27日(土)～  
■開催場所  
三原城天主台跡濠  
■参加者数 15,000人  
■主催団体  
広島経済同友会三原支部

三原城築城450年という節目の年に合わせ、きれいになった濠に、世界に誇る「阪井養魚場の錦鯉」約240匹を放流しました。

式典

- ①主催者・来賓挨拶、来賓紹介
- ②来賓による鯉の放流

●三原大茶会  
部会提案

●三原城天主台跡濠への錦鯉放流事業  
100年続く街並み(風景)を  
連携

小早川隆景公の家臣・羽倉城主末近四郎三郎信賀公が備中高松城(現在の岡山市)の水攻めで没後、435年を迎えるに当たり、信賀公ゆかりの方を招き、435年祭を実施しました。

平成29(2017)年

5月28日(日)

■開催場所  
三原農業協同組合  
久井中央支店

■来場者数 200人

■主催団体  
末近四郎三郎信賀公を偲ぶ会



▲多くの関係者が参加して行われた祭典

久井町で田を拓き、仁徳あふれる政治で農民から慕われた末近信賀公の生涯を歌詞にした末近節に合わせた踊りが披露され、信賀をしのびました。

内容

①祭典(献花・献灯、読経、挨拶、謝辞など)



▲末近節での踊り披露



▲芝居「末近信賀物語」

- ②記念講演「末近信賀と末近氏一族」
- ③民舞「信賀節」
- ④芝居「末近信賀物語」
- ⑤写真パネル、年表などの展示

久井、八幡地域にスポットを当て、小早川隆景公やその父・毛利元就公と縁の深い久井稻生神社を訪れた後、瑞泉寺では抹茶と手作り饅頭でおもてなしを受けました。坐禅体験は、好評で参加者も興味深く住職の指導を受けていました。

平成29(2017)年

6月3日(土)

■開催場所  
久井稻生神社～端泉寺～御調八幡宮～道の駅みはら神明の里

■参加者数 20人

■主催団体  
瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会



住職が手作りした一品一品の説明や作法の話があったほか、ゴマ豆腐の味くらべなどもできました。御調八幡宮に移動した後、蓮台寺までのウォーキングイベントに参加して、新緑の中、心地よい空気を味わいました。



▲新緑の中、ウォーキング



▲坐禅を体験した端泉寺

- 1 行程  
三原駅～久井稻生神社～端泉寺～御調八幡宮～道の駅みはら神明の里～三原駅
- 2 旅行代金  
1人4,500円



築城450年記念として作った「隆景音頭」の踊りを、本郷小学校の児童や女性会などが披露しました。また、町内有志の出店やそうめん流し、子どもみこし、みこし太鼓、やっさ踊りなど多彩な催しを繰り広げました。フィナーレは、2017発の花火を打ち上げました。



▲勇壮な甲冑行列



▲隆景音頭で踊り披露



平成29(2017)年

7月22日(土)

■開催場所

本郷支所周辺

■来場者数 25,000人

■主催団体

2017沼田本郷夏まつり実行委員会



▲地元小学生も参加した子どもみこし

三原城築城450年を記念して行われた甲冑行列は、地元小学生も参加し、練り歩きました。

夏休み期間中、JR三原駅(城跡)周辺を探索する城下町みはら謎解き宝探しゲーム～三原城築城450年目の真実～を行いました。初日の7月22日(土)は、12組21人がゴールしました。



▲4カ所に設置した宝箱



平成29(2017)年

7月22日(土)～8月31日(日)

■開催場所

JR三原駅(城跡)周辺

■参加者数 1,000人

■主催団体

みはらWEフェス事務局

三原ゆかりの人物を登場させたストーリーで、郷土の発展に尽力した人物を知ることができるゲームです。

家族や、友だちと謎解きをして、三原城跡やお寺などをめぐりキーワードを見つけ、全てのキーワードが分かったらみはら歴史館へ。アンケートに答えると記念品をプレゼント。

「城下町みはら」の名残のある4つの場所である三原城跡・浄念寺などを巡り、それぞれのスポットで三原の歴史に触れ、謎解きを楽



▲みはら歴史館で記念写真



▲キーワードに答えると素敵なプレゼント

しみながら新たなまちの魅力が発見できました。

アンケートでは、「タコ料理を食べさせてくれる店を増やしてもらいたい」「もう少し難しくてもよかった」「またやって欲しい」などの意見がありました。



三原の歴史の中で歌い継がれた踊り唄「三原やっさ節」。広く後世に伝えるための全国大会を三原で開催しました。

小学生以下、中学生、一般の部門に27名が参加し、自慢の歌声を披露しました。

昔風やっさと今風やっさの踊りも披露し、会場は盛り上がりました。



▲出演者とともに記念撮影



▲会場に響く「やっさ節」



▲表彰される参加者

初代優勝者は、小学生以下の部が廻野 葵さん、中学生の部が石川美子さん、一般の部が土谷撮子さんでした。優勝者の皆さんは、第

42回三原やっさ祭りのメインステージで、歌声を披露しました。



平成29(2017)年

8月6日(日)

■開催場所  
みはら歴史館

■来場者数 300人

■主催団体  
「三原やっさ節」唄全国大会実行委員会

広島県内産にこだわった牛・豚・鶏・ジビエなどをバーベキューで楽しみ、三原駅前市民広場がバーベキューの煙に包まれました。

三原をはじめ三次市、瀬戸田、広島市など遠方からも多くの方が来場しました。



▲地元食材にこだわったバーベキューコーナー



▲飲食ブースのにぎわい



平成29(2017)年

8月26日(土)

■開催場所  
三原駅前市民広場

■来場者数 1,500人

■主催団体  
肉ほおばりん祭実行委員会

地元飲食店による屋台では、自慢の肉料理を提供し、ステーキコーナー中村屋の「ステーキ丼」や鳥徳の「水軍焼」と「スパイスメンチ」などが販売され、他にもcafe 3g, Teppan Diner 6, おにぎりやキッチンかばなどの出店がありました。

夏休みスペシャル企画として、来場者に先着で「八天堂のくりーむパン」のプレゼントもありました。

また、浮城茶屋で三原だるま面相書き体験も行いました。描き方を教わりながら思い思いに三原だるまに眉や目や口、ひげを書き込み、持ち帰りました。



▲だるま面相書きを体験

三原だるまは、「願いが成るように」と鳴り物の鈴や小石を入れ、頭が細長く豆絞りの鉢巻をしているのが特徴です。



未来を担う子どもたちが歴史や文化を通じて、ふるさと三原に対する郷土愛を育むことを目的として小早川隆景公について学ぶイベント。対象者は、市内の小学4年生から6年生まで。平成27年に続いて2回目の開催。郷土愛を育む良い機会となりました。

平成29(2017)年

8月26日(土)

■開催場所

米山寺、みはら歴史館、三原城跡等

■参加者数 56人

■主催団体

(一社)三原青年会議所



▲みはら歴史館での学芸員からの説明

みはら歴史館では学芸員から、三矢の訓のもととなったといわれる三子教訓状、小早川隆景公の人物像、三原城などの説明を受けました。米山寺では、国指定重要文化財の「絹本著色小早川隆景像」などを見学。最後に、学んだことや感想を新聞にしました。



▲米山寺でお墓参り



▲全員で記念撮影

・行程

米山寺(小早川隆景公墓参り、国重要文化財絹本着色小早川隆景像見学)～みはら歴史館(見学)～三原城跡～三原市民福祉会館(子ども達による新聞作成)

三原焼きをはじめ、庄原市、尾道市など、近隣のご当地お好み焼きが勢揃いしました。秋空の下、さまざまな鉄板焼を満喫しました。



▲会場となった三原駅前市民広場



▲ご当地お好み焼きが出店するブース



平成29(2017)年

10月1日(日)

■開催場所

三原駅前市民広場

■来場者数 10,000人

■主催団体

広島てっぱん楽市楽座 in 三原実行委員会

ご当地お好み焼きや鉄板焼きのほか、水軍焼やタコ天などの販売も行われました。また、会場中央のバーカウンターでは、日本バーテンドー協会備後支部による本格的なカクテルを提供しました。

オープニングはにぎやかな「ちんこんかん」で飾り、各鉄板ブースには行列ができ、イベント終了前に売り切れる店も出ました。

ステージでは、安芸ひろしま武将隊の小早川隆景公が参戦、実力派ダンススクール生徒たちによる圧巻のパフォーマンスや県内の舞台俳優による小早川隆景公の生涯を描いた舞台などがありました。



▲同日、糸崎港で一般公開された海上自衛隊掃海管制艇



小中高生が中心となり、活動している三原市民ミュージカル。昨年に続き小早川隆景公を題材に「たかかけ城をたつ」を公演しました。歌や踊りで物語が展開し、数カ月間の練習の成果が披露されました。



▲小中学生を中心とした市民ミュージカル



▲隆景公を題材としたストーリーを展開

平成29(2017)年  
10月1日(日)

- 開催場所  
三原市芸術文化センター  
ポポロ
- 来場者数 1,131人
- 主催団体  
三原市民ミュージカル  
実行委員会・三原市教育委員会

・あらすじ  
隆景君は高校生、スマホのゲームアプリに導かれて三原城跡歴史公園にやってきます。そこで同姓・村上君に出会い、ゲームの中に入ってしまう。450年前の村上水軍と合流した隆景君と仲間たちのデッカイ夢と未来への「城」を描きました。

入場料  
大人：1700円 高校生以下：800円

三原で活動する雅楽団体・雅良会による鑑賞会。国の重要無形文化財でもある雅楽は、日本古来より伝わる音楽と舞です。中秋の名月に合せて、平安時代の雅な調べと優雅な舞を披露しました。



▲管絃



▲舞楽・迦陵頻

平成29(2017)年  
10月7日(土)

- 開催場所  
三原リージョンプラザ  
文化ホール
- 来場者数 355人
- 主催団体  
雅良会

一部  
【管絃(かんげん)・平調(ひょうじょう)】  
越殿楽(えてんらく)、陪臚(ばいろ)  
二部  
【舞楽(ぶがく)】  
抜頭(ばとう)、蘭陵王(らんりょうおう)、長

慶子(ちようげいし)、迦陵頻(がりょうびん)  
・入場料  
大人1,000円 高校生以下500円

●三原城築城450年特別公演  
平成29年度三原市民ミュージカル「たかかけ城をたつ」  
三原市

●雅楽観月鑑賞会  
部会提案

三原リージョンプラザ屋外広場で三原の名物であるタコを多くの人に知ってもらうためのイベント・「みはらタコ見聞録」を開催しました。「食べる」、「聴く」、「観る」などのテーマごとにタコに関係するブースに多くの親子が訪れました。特に、タコ焼き機で自分で焼いて食べる「タコパー」が好評で、もっとタコを好きになってもらう良い機会となりました。



▲自分で焼いて食べる「タコパー」



▲「ザ！鉄腕！DASH!!」でおなじみの木村さんの講演会



▲タコなどのバルーンアート

平成29(2017)年  
10月14日(土)

■開催場所  
三原リージョンプラザ  
■来場者数 1,000人  
■主催団体  
瀬戸内三原 築城450  
年事業推進協議会

・「聴く！」講演会

日本テレビ系列で放送中の「ザ！鉄腕！DASH!! - DASH海岸 -」レギュラー出演中のNPO法人海辺つくり研究会理事・事務局長の木村尚さんによる講演会。

・「巡る！」スタンプラリー

会場内に設置された4カ所のスタンプを押したカードと引き換えに築城450年記念品を

先着100人にプレゼント。好評で午前中で終了となりました。

・「観る！」映画「ファインディング・ドリー」  
タコのキャラクターも出演するアニメ映画「ファインディング・ドリー」を上映しました。

・「遊ぶ！」バルーンアート  
バルーンアートのパフォーマーによるタコや魚などの製作実演。

フルーツや生クリームなどのスイーツ素材をパンで挟んだ「スイーツバーガー」。クリームパンで多くのファンを魅了している八天堂が全国大会を初開催しました。全国各地から集まった多種多様なスイーツバーガーを来場者や審査員の投票により、日本一のスイーツバーガーを決定しました。



▲多種多様なスイーツバーガー



▲投票で賞を決定

エントリーされたバーガーは21種類。その中から4つに賞が送られました。グランプリには、「とちおとめいちごどまんなかっぱいスイーツバーガー」(どまんなかたぬま：栃木県)が選ばれました。栃木県の主力品種である「とちおとめ」が使用され、食感の良さ果汁が豊富である一品です。三原市長賞は、「くだもの畑からお届け シャインマスカットバーガー」(平田観光農園：広島県)。クリームチーズをさいの目にカットし、シャインマスカットを使用して蜂蜜をかけた、甘みを堪能できるバーガーです。特別審査員賞は、「なつかしの味！カラフル苺大福バーガー」(糸崎小学校：三原市)。昔から親しまれているいちご大



▲スイーツをパンで挟んだバーガー

福を使い、キウイ、パインなどでカラフルな見た目に仕上がっています。T S賞は、「きさらづ発ハロウィンバーガー」(チーム木更津：千葉県)。あいにくの空模様でしたが、来場者を笑顔にしたイベントとなりました。

平成29(2017)年  
10月15日(日)

■開催場所  
八天堂ヴィレッジ  
■来場者数 2,500人  
■主催団体  
八天堂カフェリエ

オープニングイベントでは市内各グループのフラグスの披露や、歌謡ショーを行いました。くい文化センター高原ホール内では、三原城築城450年記念として、甲冑パレード、祇園踊り、坂井原盆踊りを行い、小早川隆景公の家臣、末近四郎三郎信賢公をしのびました。



▲甲冑パレード



▲牛そり逆転レース



▲牛乳早飲み大会



▲オリジナル横断幕の発表

平成29(2017)年  
10月29日(日)

- 開催場所  
久井保健福祉センター、文化センター周辺
- 来場者数 3,500人
- 主催団体  
久井!さわやか高原祭り実行委員会

メインステージでは、牛飯早食い、牛乳早飲み大会で盛り上がり、来場者からの声援を受けていました。午後から雨もあがり、恒例の牛そり逆転レースが開催されました。重さ250kgの牛そりに人が乗り、4人で引っ張り

タイムを競うレースで、祭りのメインイベントでした。また、久井中学校生徒による祭りのオリジナル横断幕の発表があり、未来を感じるステージとなりました。

県立総合技術高校の生徒が市特産の米粉を使って開発したグルメコンテストを開催しました。考案された114品の中から13品が校内選考で選ばれ、9月26日に一時審査が実施されました。プレゼンテーションと試食審査後、「米粉deみるくまんじゅう」、「なめらか米粉プリン」、「もっちり!米粉ドーナツ★」の3品が選ばれました。



▲最終審査試食の様子

平成29(2017)年  
11月5日(日)

- 開催場所  
三原リージョンプラザ 屋外広場
- 来場者数 1,000人
- 主催団体  
瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会

この予選を通過した3品の試食を行い(限定200食)、来場者の投票によりグランプリを決定しました。「なめらか米粉プリン」がグランプリに選ばれ、当初、グランプリに選ばれたメニューのみ、市と包括連携協定を締結しているフレスタ店舗での商品化が予定されています。



▲米粉スイーツ3品



▲フレスタ三原店での店頭販売

したが、アイデアが高く評価され、3品全てが商品化されることとなりました。試食には長蛇の列ができ、来場者は高校生が考案した米粉スイーツを味わっていました。

小早川隆景公をはじめとする歴代三原城主をしのび、築城500年への希望のともしびとして、三原城のお濠にかがり灯をともしました。



▲太鼓の演奏とともに幕開け



▲かがり灯を見守る来場者



▲三原城の石垣をバックに



▲しの笛の演奏

平成29(2017)年

11月5日(日)

■開催場所  
三原城跡歴史公園

■来場者数 300人

■主催団体  
50年後の三原を創ろう委員会

三原城跡歴史公園ステージでは、やっさ踊りの披露やしの笛の演奏などがあり、堀の水面上に映るかがり灯とともに、会場は幻想的な雰囲気につつまれました。

三原城は、平成29(2017)年4月に続日本100名城に選ばれています。

室町時代に活躍した水墨画家・雪舟ゆかりの自治体である総社市、井原市、益田市、防府市、山口市、三原市の市長が集い、記念講演、リレートーク等を通じて友好の輪を広げました。

如水館中学高等学校書道部による書道パフォーマンスが披露され、サミットのテーマとなる言葉を絵とともに力強く表現しました。



▲如水館書道部によるパフォーマンス



▲6市の構成市長によるリレートーク



▲島尾 新教授による講演会



▲石見神楽の公演

平成29(2017)年

11月11日(土)

■開催場所  
三原市芸術文化センターポポロ

■来場者数 500人

■主催団体  
三原市(第16回雪舟サミット実行委員会)

第1部の学習院大学 島尾 新教授による記念講演「世界のなかの画聖雪舟」では、海外における雪舟の評価、作品などについて、時折ユーモアを交えてお話いただきました。第2部では、サミット構成市長のリレートークが行われ、「世界に向けて顕彰する雪舟の業績」

と題して、各市における雪舟との関連やPRを兼ねて熱弁されました。第3部のアトラクションでは、益田市石見神楽神和会「道川神楽社中」による「天神」、「八岐大蛇」が公演され、来場者から大きな拍手が送られていました。



全国から作品が集まり、美を競うおもと名品展を、三原市民ギャラリーで開催しました。

縁起のいい植物としても有名で、引越し祝いなどで喜ばれる「おもと」は、古くから日本で栽培されてきた植物で、歴史ある伝統文化を鑑賞する機会となりました。



▲全国大会を三原で開催



▲多くの県外からの来場者

平成29(2017)年  
11月25日(土)、26日(日)

- 開催場所  
ペアシティ三原西館2階  
市民ギャラリー
- 来場数 5,000人
- 主催団体  
公益財団法人  
日本おもと協会

おもとはユリ科の多年草で葉芸と斑で美を表現し、立ち姿、腰折れ姿など大小、模様もさまざま、じっくり鑑賞できる大変面白い展覧会となりました。

北海道から鹿児島県まで、85品種・約650点が出品されました。

50年後へのメッセージや築城450年事業の関係資料などを後世に伝え引き継ぐためのメッセージカプセル除幕式を行いました。

カプセルは、三原城築城500年にあたる2067年に開封する予定です。



▲メッセージカプセル除幕

カプセルは、三原城天主台の石垣を模して、底辺が約86センチ四方、上部の開口部が約59センチ四方で、高さが約42センチあります。三原市大和町の障害福祉サービス事業所「もりの輝舎」が、三原産のヒノキなどを使って制作しました。

式では、瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会の勝村善博会長が「一年一年の移り変わ

平成30(2018)年  
2月10日(土)

- 開催場所  
みはら歴史館
- 来場者数 80人
- 主催団体  
瀬戸内三原 築城450  
年事業推進協議会



▲関係資料なども後世へ

りを後世に伝えてほしい」とあいさつ。関係者で除幕をした後、市立三原小の児童3人が、市内小・中学校からの寄せ書きや、市民の将来の夢などを記入したメッセージカードなどを納めました。

メッセージカードはシールになっており、貼り合わせるとモザイクアートが完成します。

第72回日本おもと名品展 広島・三原大会

連携

「メッセージカプセル」除幕式

協議会

● フォトロゲイニング



地図をもとに、時間内に市内の観光名所などのチェックポイントを回って写真を撮影することで得点を集めるイベント。県外からも、24人の参加がありました。

平成27(2015)年 11月22日(日)

開催場所/三原駅周辺

参加者数/102人

主催団体/瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会

協議会

● 童門冬二講演会



歴史上の人物の中で、隆景公が好きという作家・童門冬二さんが「小早川隆景公に学ぶリーダー像」と題して講演されました。「隆景は何かを決断する際、情報収集・分析・選択肢の設定に至るまで、徹底して行っただけで判断し、行動に移していたために、後悔がなかった」など、いかにリーダーとして隆景公が優れていたかについて語り、再認識する機会となりました。

平成28(2016)年 2月9日(火)

開催場所/三原リージョンプラザ文化ホール

参加者数/350人

主催団体/三原商工会議所

連携

● レシピコンテスト



(株)道の駅みはらと臨空広域経済交流協議会(三原商工会議所・三原臨空商工会で構成)の共催で、地域の食材を使ったレシピコンテストを開催。平成28年は、「三原やっさタコ」「みはら神明鶏」平成29年は、「里芋」「レンコン」を使ったレシピコンテストを開催しました。各コンテストには、200を超えるレシピの応募があり、最優秀賞・優秀賞・入賞を選びました。最優秀作品は、道の駅みはら神明の里で提供しました。

平成28(2016)年～平成29(2017)年

開催場所/道の駅みはら神明の里

参加者数/100人

主催団体/(株)道の駅みはら・臨空広域経済交流協議会

連携

● みはらバル



飲食店の皆様の新規顧客開拓につなげていくことを目的に開催した「三原バル」は、飲食店が「お料理+1ドリンク」のバルメニューを決めてマップで紹介し、3枚つづりのバルチケットを購入し、好きなお店を好きなコースで回って楽しむという食べ歩きイベントです。

三原焼き振興会と三原商工会議所で連携した「三原バル実行委員会」の主催。

平成28(2016)年 5月27日(金)～6月4日(土)

開催場所/三原市内

参加者数/255人

主催団体/三原バル実行委員会

連携

## ● 出張!なんでも鑑定団in三原公開収録



テレビ東京「開運!なんでも鑑定団」のコーナー「出張!なんでも鑑定団」の公開収録で、公募で選ばれた5名の依頼人によるお宝鑑定が行われました。  
・放送日 8/16テレビ東京  
10/23広島ホームテレビ

平成28(2016)年 7月24日(日)

開催場所/三原市芸術文化センター ポポロ

参加者数/1,000人

主催団体/瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会

協議会

## ● ぼくもわたしも段ボール甲冑で浮城まつりを練り歩こう



小学生を対象とした段ボール甲冑作成講座を開催し、完成した段ボール甲冑を着用して、浮城まつりの甲冑行列に参加しました。

三原小、田野浦小、南小、西小、西野小、幸崎小、糸崎小、広大附属三原小から20人の参加がありました。

平成28(2016)年 10月8日(土)

開催場所/三原市市民福祉会館

参加者数/20人

主催団体/NPO法人 みはらまちづくり兔っ兔

市民活動  
チャレンジ

## ● 「三原元気っ子隊」応援事業



(株)八天堂と連携して三原市立糸崎小学校の児童がクリームパンの新商品開発に携わりました。新商品のテーマソングやダンス動画DVDの制作のほか、オリジナルTシャツを作って着用し、新商品の販売も行いました。

①三原浮城まつり

児童による直接販売やテーマソング、ダンスの披露

②道の駅みはら神明の里

新商品の販売

①平成28(2016)年11月5日(土)・②平成29(2017)年1月21日(土)

開催場所/①三原浮城まつり②道の駅みはら神明の里

来場者数/300人

主催団体/三原市立糸崎小学校PTA

市民活動  
チャレンジ

## ● ハンドメイドマーケット



カフェ「3g」が企画したハンドメイドマーケット。10回目となる今年は、会場を駅前市民広場に移して開催しました。

陶器・木工・布雑貨・アクセサリ・編み物などの作品から、頭皮マッサージ・ハンドマッサージや、しめ縄リース作りのワークショップなど計22店が出店しました。3g限定メニューも人気でした。

平成28(2016)年 12月11日(日)

開催場所/三原駅前市民広場

参加者数/1,500人

主催団体/ハンドメイドマーケット実行委員会

協議会



● もちつき大会



三原駅前市民広場でもちつき大会が開催されました。おもち、ぜんざい、おでんなどが販売され、肌寒い天候の中にもかかわらず、多くの来場者で賑わいました。

平成28(2016)年 12月18日(日)

開催場所／三原駅前市民広場

来場者数／360人

主催団体／城町西部商栄会

協議会



● ミニ門松づくり



みはら歴史館前の浮城茶屋でワークショップとして開催。お正月に向けて手作りのミニ門松づくりに挑戦しました。松、竹、葉ボタンなどバランスよく配置して、ミニとはいえ、本格的な門松ができあがりました。

平成28(2016)年 12月18日(日)

開催場所／浮城茶屋(みはら歴史館)

参加者数／17人

主催団体／NPO法人 ちゃんくす

協議会



● 「みやうなあで」れんこん堀り



みやうなあ(簡単ではない)でれんこん堀り体験は、本気で農業体験したい人向けに企画したイベント。子どもたちも悪戦苦闘する大人たちを応援。親子連れから本気で農業体験をしたい人まで、たくさんの方が参加しました。

れんこん堀りが終わったあとは、地元高坂の「もみじの郷」が作った、れんこんチップスとれんこんピザを試食しました。

平成28(2016)年 12月18日(日)

開催場所／高坂自然休養村センター

参加者数／15人

主催団体／もみじの郷

協議会



● みんなでつくるクリスマス



クリスマスツリーを持ち寄って、みんなで飾り付けをしました。

フェルトでつくるクリスマスツリーや消しゴムはんこで作るオーナメント(飾り)、雪だるまりースなどを作り、持ち寄ったクリスマスツリーに飾り付けをしました。

夕方には、飾り付けられたクリスマスツリーを点灯して、イルミネーションを楽しみました。

平成28(2016)年 12月24日(土)、25日(日)

開催場所／三原駅前市民広場

来場者数／610人

主催団体／みはらWEフェス事務局

協議会



● 石でお雛様、お内裏様を作ろう・紙のお雛様づくりワークショップ



石や紙でお雛様を作るイベントが開催されました。色とりどりの折り紙で丁寧に作られたお雛様、お内裏様がとても可愛らしく出来上がりました。

「紙のお雛様を作ろう」では、家族での参加者が多く、作ったお雛様は各自で家に持ち帰りました。

平成29(2017)年 1月29日(日)、2月19日(日)、25日(土)、26日(日)

開催場所／浮城茶屋(みはら歴史館)

参加者数／126人

主催団体／NPO法人 ちゃんくす

協議会



● 隆景カップ ロングランゴルフコンペ



三原市は、ゴルフ場が多い町という特徴を活かし、瀬戸内三原 築城450年事業とタイアップしたロングランゴルフコンペが開催されました。ゴルフ競技者の増加と健康推進、並びに参加者の歴史認識の浸透を図りました。

参加費：500円/プレー

平成29(2017)年 2月4日(土)~11月5日(日)

開催場所／市内6カ所ゴルフ場(三原カントリー倶楽部、久井カントリークラブ、京覧カントリークラブ、本郷カントリー倶楽部、フォレストヒルズゴルフ&リゾート、グリーンパースゴルフ倶楽部)

参加者数／10,078人

主催団体／三原市ゴルフ協会

連携

● 立華砂の物展示



江戸時代初期の家元の作品「立華砂の物」を再現。鉢の根元に砂が敷き詰められていることから、「砂の物」と呼ばれるそうです。華道家元池坊三原支部の皆さんが、約2日かけて生けられた作品を展示しました。

450年前の池坊の花(池坊二代専好砂物二株17図)を再現しました。昔の文化に触れ、華道関係者のみならず、県内外の多くの人に関心を寄せていました。

平成29(2017)年 2月8日(水)~21日(火)

開催場所／J R三原駅新幹線コンコース

参加者数／300人

主催団体／華道家元池坊三原支部

市民活動  
チャレンジ

● はだか祭活性化・誘客促進事業



小早川隆景公ゆかりの地である久井稻生神社で開催される県内唯一のはだか祭りは、平成30年に100周年を迎えました。昼の時間帯への誘客を図るため、旧久井小学校体育館での神楽の公演もあり、豚汁を振る舞ったほか、餅投げも行いました。

まち飾りのデコの人気投票を行い、約100人の投票があり、参加者の中から抽選で粗品をプレゼントしました。

平成29(2017)年 2月18日(日)

開催場所／久井稻生神社周辺

参加者数／300人

主催団体／はだか祭実行委員会

市民活動  
チャレンジ

### ● 子どもはだか祭り



久井はだか祭りに併せて開催しました。神輿練り歩きでは、保育園児から中学生まで、男女合わせて129名の子どもが参加しました。さらしを巻いた男子が神輿を担ぎ、女子は同色のジャンパーを着用して、沿道の見物客に約2,000個の餅を配りました。

久井稲生神社で祈祷後、境内から女子が約800個の餅を投げ、男子はそれを拾いあい、擬似はだか祭りを体験しました。

平成29(2017)年 2月18日(日)

開催場所/久井稲生神社周辺

参加者数/129人

主催団体/昭和五十年会



### ● みはら元気祭り



三原という地域コミュニティの力強さを、もっとアピールしよう!と「三原元気祭り」が開催されました。飲食ブースは、7店舗が出店。共楽堂の酒まんじゅうのプレゼントや、キッズダンスの披露などもあり、多くの来場者が楽しんでいました。

平成29(2017)年 2月26日(日)

開催場所/三原駅前市民広場

参加者数/2,500人

主催団体/三原元気祭り運営委員会



### ● セトウチジャズキャッスル'17



広島、岡山、山口から、17組のバンドと、スペシャルゲストとして、広島出身でニューヨーク在住の大林武司さん、石若駿さん、中林薫平さんの演奏がありました。

また、セッションアンドアワード「第1回学生ジャズ将軍」を行い、広島大学大学院生の村尾優太さんが優勝しました。

1階 ホワイエでは、BAR CARLTONがお酒などを、2階ロビーでは、道の駅よがんす白竜がパンやミネストローネなどを販売、来場者はジャズとお酒を楽しみました。

平成29(2017)年 2月26日(日)

開催場所/三原市芸術文化センター ポポロ

参加者数/800人

主催団体/セトウチジャズキャッスル実行委員会



### ● コスプレパーティー



キャラクターデザインカーが30台以上集まり、広島・岡山で活動するローカルアイドル9組のステージや、コスプレでの写真撮影会が行われたほか、メイドカフェの出店もありました。非日常的な空間を楽しめるイベントとなりました。

平成29(2017)年 3月12日(日)

開催場所/三原駅前市民広場

参加者数/2,000人

主催団体/BINGOロコドル組合、OZ・PLANNERS、オフィス・奏



## ● 佐木島音楽会2017



佐木島でジャズライブを開催しました。三原で活動するミュージシャン鈴木美子さん(ヴォーカル)、杉川伸二さん(ギター)、阿吹光政さん(ベース)が生演奏を披露しました。

特別企画として事前に募集したリクエスト曲に応じ、なつかしの歌謡曲も熱唱し、会場が盛り上がりました。

平成29(2017)年 3月12日(日)  
開催場所/サギ・セミナー・センター  
参加者数/50人  
主催団体/島と音楽実行委員会



## ● いけばな閑瀧流展



閑瀧流は、初代家元小川閑陽により昭和18年に創流され、新しい環境や時代にマッチした生け花をめざしてきました。

今回の作品展は、城をテーマにした作品を発表したほか、大作などは美術品を鑑賞している気分が味わえるよう、広々とした空間の中で展示しました。

平成29(2017)年 3月31日(金)~4月1日(日)  
開催場所/三原市民ギャラリー(ペアシティ三原西館2階)  
来場者数/600人  
主催団体/閑瀧流三原支部

市民活動  
チャレンジ

## ● ft ファミリー津久農業体験 レンコン堀見学体験



大和町津久の美しい自然と農業を守りたい! 知ってもらいたい! という思いで実施しました。

- ①レンコン堀体験及び見学
- ②泥んこ遊び
- ③レンコン料理見学及び試食会
- ④2人羽織レンコンストローで早飲み競争
- ⑤レンコンスタンプ、シャボン玉ゲーム

平成29(2017)年 4月1日(土)  
開催場所/大和町上徳良  
参加者数/59人  
主催団体/ft ファミリー津久

市民活動  
チャレンジ

## ● 新高山登山



本郷町観光協会のガイドにより、小早川隆景公の居城があった新高山を登山したほか、雑学クイズも行われました。

三原市本郷支所→沼田川沿いウォーキング(約2km)→新高山登山→同コース引き返し帰着

新高山城は、平成29(2017)年4月、続日本100名城に選ばれています。

平成29(2017)年 4月1日(土)  
開催場所/新高山城跡  
参加者数/48人  
主催団体/本郷緑と水を守る会

市民活動  
チャレンジ

● 三原 花のジャズコンサートⅢ



市内や広島県でジャズ演奏を行っている演奏者を中心に花のジャズカルテットを結成。ゲストにスコット・チャドウィック(トランペット・ヴォーカル)を迎え、スタンダードジャズなど10曲を演奏しました。男性ヴォーカルの歌声と巧みな演奏で、客席と会場が一体となりました。

平成29(2017)年 4月22日(土)  
開催場所/三原市芸術文化センター ポポロ  
来場者数/148人  
主催団体/三原花のジャズコンサート実行委員会



● 「植よおで」れんこん(農業体験)



農業体験の前に、参加者全員で鯉のぼりをあげ、れんこん畑まで散策しました。水を張ってあるれんこん畑は、足がとられ歩きにくいですが、頑張ってれんこんを植えました。

その後、高坂自然休養村管理センターで、春の山菜と釜で炊いたごはんを味わいました。

平成29(2017)年 4月29日(土)  
開催場所/高坂自然休養村センター  
参加者数/30人  
主催団体/もみじの郷



● ハーモニカアンサンブルコンサート



各グループ(2~8名)が歌謡曲、童謡、唱歌などをハーモニカで合奏しました。県内45グループが参加。武内俊子さんの「かもめの水兵さん」,「船頭さん」等をハーモニカの伴奏で大合唱。最後は、やっさ踊り唄で参加者のやっさ踊りもあり、大いに会場が盛り上がりました。

平成29(2017)年 4月29日(土)  
開催場所/三原市民ギャラリー  
参加者数/200人  
主催団体/SUNみはらハーモニカアンサンブル



● ハロー! サンデーマーケット<蚤の市>



青空の中、素敵な音楽が流れ、革製品やハンドメイド作品、ドライフラワー、古道具などの販売やワークショップなどを行いました。また、ベーグルやカレーなどを販売しました。

「かわいいハンドメイド雑貨がたくさんあってとても楽しかった」など好評でした。

平成29(2017)年 4月30日(日)  
開催場所/三原駅前市民広場  
参加者数/1,500人  
主催団体/cafe3g



## ● 人形劇「浮城ものがたり」



三原城を築き、三原繁栄の礎を築いた知将小早川隆景公の半生、人間性などを人形芝居劇として上演しました。幼名徳寿丸の幼少期、厳島合戦、三子教訓状、三原城築城などのエピソードを織り交ぜ、隆景公の生き方、それを取り巻く時代を分かりやすく説明。子どもから大人まで楽しめる内容となりました。

平成29(2017)年 3月～11月

開催場所／市内14カ所

来場者数／300人

主催団体／浮城パペットサークル

市民活動  
チャレンジ

## ● 創作つみあげ紙芝居「三原市みはらしえーぞ」



小早川隆景公の幼少期、初陣、厳島合戦、毛利元就公と三兄弟との「三矢の訓」などのエピソードを紹介。現在の三原城跡、高山城、新高山城跡、石垣などの史跡なども含め、創作つみあげ紙芝居として制作しました。市内小・中学校15校のほか、高齢者施設など17カ所で上演されました。

平成29(2017)年 4月～11月

開催場所／市内32カ所

参加者数／2,314人

主催団体／読み語りボランティア「ねむの木」

市民活動  
チャレンジ

## ● ミハライダーズカップ VOL.5



毎年開催されているランニングバイクレース。ランニングバイクとは、ペダルもブレーキもない子ども用2輪車で、地面を蹴って進み、楽しく遊びながら平衡感覚を養うことができます。2歳から小学3年生までの約190名がエントリーし、年齢別でレースを競いました。市内・市外からたくさんの方が観戦に訪れました。

平成29(2017)年 5月3日(祝・水)

開催場所／三原駅前市民広場

参加者数／1,500人

主催団体／駅前広場盛り上げ隊

協議会



## ● みはらミュージックマーケットPresents GWライブ



青空の下、18組のミュージシャンが演奏しました。このイベントは、9月に行われる「みはらミュージックマーケット」の告知ライブとして開催し、多様なジャンルの音楽が演奏されました。行き交う来場者も立ち止まり、音楽にあふれる空間を楽しんでいました。

平成29(2017)年 5月3日(祝・水)、4日(祝・木)

開催場所／道の駅みはら神明の里

参加者数／3,000人

主催団体／みはらミュージックマーケット実行委員会

協議会



## ● 小佐木島親子宝探し大会



小早川隆景公の小早川水軍が活躍した瀬戸内の魅力ある島のひとつ小佐木島で宝探し大会を行いました。

景品として島の産品も用意して、さまざまな体験メニューで、楽しいひとときを過ごしました。

### ● オプション体験 (参加自由)

- ・小佐木島特別展示の案内
- ・小佐木島1周散策
- ・囲い込み漁、押し網見学
- ・島のバーベキュー体験
- ・「親子エコマラソン」(佐木島) 応援、島民との交流 など

平成29(2017)年 5月5日(祝・金)

開催場所/佐木島, 小佐木島

参加者数/60人

主催団体/小佐木まるごと体験部

市民活動  
チャレンジ

## ● “いぬ・ねこ”チャリティーマルシェ



プチトリミングブースでは、30組以上の利用がありました。多肉植物の寄せ植やハンドメイドグッズ、ペット服、香ばしい小麦の香りのパンの販売などが行われました。

また、骨董市、フリーマーケット、キッズワークショップも行われ、子どもたちがチョークでお絵かきをしていました。

このイベントの収益は、保護犬・猫の食費、医療費などに充てられます。

平成29(2017)年 5月7日(日)

開催場所/三原駅前市民広場

参加者数/1,000人

主催団体/尾三地区犬猫保護婦人会

協議会



## ● シニアスローピッチソフトボール大会



三原市, 近隣4市の8チーム約50人が、熱戦を繰り広げました。

スローピッチソフトボールは、生涯スポーツとして高齢者が楽しく安全にプレーできることから、注目を集めています。

今大会では、三原市のチームが優勝を飾りました。

平成29(2017)年 5月14日(日)

開催場所/三原市本郷総合公園グラウンド

参加者数/150人

主催団体/瀬戸内三原450年記念シニアスローピッチソフトボール大会実行委員会

市民活動  
チャレンジ

## ● 浮城武道フェスティバル



三原市武道振興会に所属する武道団体(柔道, 剣道, 弓道, 空手道, 合気道)による合同演武会を開催しました。全体演武を実施した後、各団体でワークショップを開催し、体験することで、それぞれの武道の魅力をアピールしました。

平成29(2017)年 5月14日(日)

開催場所/三原市武道館, 三原リージョンプラザ副体育館・弓道場

参加者数/250人

主催団体/三原市武道振興会

市民活動  
チャレンジ

### ● 「植よおで」田植えと芋の植え付け農業体験



田植え(ヒノヒカリ)、サツマイモ(鳴門金時)の植え付け体験を行いました。

晴天に恵まれ、芋の苗付けの体験や、田植えでは、水を張った田んぼに足がはまり泥だらけになりながら苗を植えました。

農業体験後、地元で採れた新鮮野菜を使った昼食をとりながら交流を深めました。

秋には、収穫体験イベントを開催しました。

平成29(2017)年 5月14日(日)  
開催場所/高坂自然休養村センター  
参加者数/35人  
主催団体/もみじの郷



協議会

### ● Car&BIKE 名車・旧車大集合



「三原さつき祭り」の「さつきパレード」に懐かしい名車や旧車・バイクが参加し、その後、三原駅前市民広場に展示し、たくさんの来場がありました。

フードコーナーやカー用品・トミカミニカーなどの販売のほか、家族でも楽しめる射的コーナーもありました。

平成29(2017)年 5月27日(土)、28日(日)  
開催場所/三原駅前市民広場  
参加者数/5,000人  
主催団体/ミハラベース



協議会

### ● もみみ☆まつり



アニメやゲームの裝飾車展示とコスプレイベント「もみみ☆まつり」。県内外からコスプレイヤーや裝飾車両(痛車)が三原に集結しました。

ローカルアイドルのステージのほか、道の駅で販売されているお菓子、お米、お酒などが当たるビンゴ大会などを開催しました。

平成29(2017)年 6月4日(日)  
開催場所/道の駅みはら神明の里  
参加者数/5,000人  
主催団体/もみみ☆まつり実行委員会



協議会

### ● 本郷にこここハーモニカ同好会 創立10周年記念演奏会



三原城天主台跡、聖トマス小崎像、やっさ踊りなどの映像とともに、三原の歴史を語るナレーションを入れたシナリオ「浮城物語」。ステージに映し出される画像にハーモニカ演奏が加わり、三原の歴史がより印象深く感じられました。

その後は、17曲のソロ演奏のほか、3曲の全員演奏で日頃の練習の成果を披露しました。

平成29(2017)年 6月24日(土)  
開催場所/本郷生涯学習センター  
参加者数/150人  
主催団体/本郷にこここハーモニカ同好会

市民活動  
チャレンジ

## ● 三原七夕ゆかた祭



ゆかたコンテストを中心に、ダンスパフォーマンスなどのステージ、グルメを楽しみました。

年々浴衣姿の来場者も増え、会場内は願い事の短冊も多く飾られていました。グルメブースでは、24店舗が出店し、築城450年を記念して、各店が自慢の450円メニューを提供しました。併せて記念スタンプラリーも開催しました。

平成29(2017)年 7月8日(土), 9日(日)

開催場所/三原駅前市民広場

参加者数/17,000人

主催団体/三原七夕ゆかた祭実行委員会



市民活動  
チャレンジ

## ● マリンデイ 三原港



海の日にちなんだイベント。港周辺の5つのポイントでの宝探しや、港の魅力発見をテーマにしたワークショップを行いました。今治造船から寄贈されたプロペラの前では、きんぴかプロペラライブがあり、7組が演奏したほか、園児のメッセージやイラストが入ったキャンドル灯籠を飾りました。ライトアップされたヨットやクルーザーが、港町三原を演出していました。

平成29(2017)年 7月17日(祝・月)

開催場所/三原内港東公園

参加者数/600人

主催団体/みなとオアシス三原運営委員会

市民活動  
チャレンジ

## ● 三原浮城の陣 水風戦大会



水風船を投げ合って敵陣地を攻め、城を先に奪取したチームが勝ちとなるスポーツ大会。三原市では初めて開催されました。1チーム5名で、制限時間内で作成した水風船で対戦し、1試合3セットマッチの2セット先取で勝利。試合終了後は、割れた風船を出場チーム全員で回収しました。

平成29(2017)年 7月23日(日)

開催場所/三原市立南小学校 屋外運動場

参加者数/100人

主催団体/三原水風戦大会実行委員会

市民活動  
チャレンジ

## ● 450年記念トートバッグ、満州姫染めの手作り絵はがきの制作、販売



お城の石垣、小早川家家紋、タコなどがデザインされたオリジナルの型絵染バックを販売しました。

また、親子で楽しめる型絵染の体験講座を開催し、オリジナル作品を制作しました。

平成29(2017)年 7月23日(日)

開催場所/みはら歴史館前スペース

参加者数/21人

主催団体/紅染色会

市民活動  
チャレンジ



## ● 子ども達に伝える発表会



将来を担う子どもたちに、三原の歴史や小早川隆景公の人物像などを人形劇や紙芝居で伝えました。

・出演団体

ほんごう子ども図書館 「三原城と隆景」

ねむの木 創作つみあげ紙芝居 歴史に未来に・三原城築城450年「三原市みはらしえーぞ」

NPO法人 みはらまちづくり兔っ兔 「たけし隆景に会おう編」

浮城パペットサークル 「浮城ものがたり」

・同時開催 子ども達が作った段ボール甲冑・兜の展示

平成29(2017)年 7月29日(土)

開催場所／みはら歴史館

参加者数／50人

主催団体／NPO法人 みはらまちづくり兔っ兔

市民活動  
チャレンジ

## ● 小早川隆景おはなし会



小早川隆景公の人物像、高山城・新高山城、三原城、三原の歴史などを分かりやすく紙芝居で伝えました。

また、人形劇「浮城ものがたり」の公演、本郷町観光協会制作の「隆景音頭」を参加者で踊り、築城450年を祝いました。

平成29(2017)年 8月～9月

開催場所／市内3カ所

参加者数／196人

主催団体／ほんごう子ども図書館

市民活動  
チャレンジ

## ● やっさ花火・踊り&小佐木の盆踊り体験事業



花火を見たり、島を散策したりして島の魅力を満喫しました。

- 内容
- 1 やっさ祭りの花火
  - 2 小佐木島散策, 小佐木区の盆踊り
  - 3 島のバーベキュー交流体験  
島の食材を利用して参加者と島民との交流会
  - 4 島の活性化意見交換会  
参加者と島民で島の活性化に向けた具体的な事業などの意見交換会

平成29(2017)年 8月13日(日)・14日(月)

開催場所／小佐木島

参加者数／60人

主催団体／小佐木まると体験部

市民活動  
チャレンジ

## ● みはらミュージックマーケット2017



会場には4つの音楽ステージが設置され、三原市内外で活動するミュージシャン全27組が演奏しました。ロックやポップス、フォークやジャズバンドなどさまざまなジャンルの音楽が人々を魅了しました。

飲食店、雑貨や野菜販売なども26店並び、広場が人と音楽にあふれる1日となりました。

平成29(2017)年 9月24日(日)

開催場所／三原駅前市民広場

参加者数／3,000人

主催団体／みはらミュージックマーケット実行委員会

協議会



## ● ミハライダーズカップ VOL.6



2歳から小学3年までの約140名がエントリーし、熱戦を繰り広げました。本戦のほか、本戦などで敗れた8名での敗者戦ジャンボコッペパン争奪戦も行い、1位にはオギロジャンボコッペパンなどが贈られました。年齢別の各部門の1位から3位までを表彰しました。

平成29(2017)年 10月15日(日)

開催場所/三原駅前市民広場

参加者数/1,000人

主催団体/駅前広場盛り上げ隊

協議会



## ● 2017だいわ元気まつり



屋外ステージでは、大和町の伝統芸能である子ども神楽やダンスチームによるパフォーマンスなどを披露しました。会場内のブースでは、町内の野菜などをまるごと使用した「大和まるごと鍋」の試食を行い、来場者に好評でした。

平成29(2017)年 10月15日(日)

開催場所/大和支所周辺

参加者数/5,000人

主催団体/だいわ元気まつり実行委員会

祭り

## ● 戦国武将の食と当時の農民の食～現代の食へ



だいわ元気まつりで、戦国時代の食事を再現し200食を提供したほか、甲冑試着の体験も行いました。

戦国時代には何を食べていたのか?当時の武将、農民の食と現代食を比べ、食への関心を深める良い機会となりました。

平成29(2017)年 10月15日(日)

開催場所/だいわ元気まつり会場内

参加者数/200人

主催団体/やっさふるさと食を愛する会

市民活動  
チャレンジ

## ● 夢と絆の小坂町秋祭り



毎年恒例の長谷神社の秋の大祭みこし巡業などに、石見神楽の上演、善根寺収蔵庫仏像特別公開、小早川隆景公の家臣、田坂全慶の居城「稲村城跡」の見学を行ったほか、秋祭りバザーも行いました。

あいにくの雨でしたが、神楽を見に多くの方が訪れました。

平成29(2017)年 10月15日(日)

開催場所/沼北小学校体育館、グラウンド

参加者数/400人

主催団体/小坂町内会

市民活動  
チャレンジ

### ● うきしろハロウィン&カーニバル



三原市初のハロウィンイベントが、三原駅前市民広場で開催されました。台風21号の接近により、14時までの開催となりましたが、雨にもかかわらず、たくさんの方が来場しました。中でもかぼちゃを使ったキャンドル作りは、子どもが中心となって、自分だけのオリジナル作品を完成させました。

平成29(2017)年 10月21日(土), 22日(日)

開催場所/三原駅前市民広場

参加者数/350人

主催団体/うきしろハロウィン&カーニバル 協議会



### ● みはら生活応援イベント「みはらッテ」



1枚450円が2枚つづりになった専用チケットを購入することで、飲食や小売・美容等の参加店でお得な商品の購入やサービスの提供が受けられるイベント。新しいお店やお客様の発見にもつながり、店や参加者ともに楽しんでいました。アンケートに答えると、抽選で商品券が当たる特典もありました。

平成29(2017)年 10月25日(水)~31日(火)

開催場所/市内参加店舗

参加者数/400人

主催団体/三原商工会議所



### ● [第4回さぎ100]三原佐木島100キロウォーク



風光明媚な瀬戸内の離島「佐木島」を舞台に30時間以内で、1周約11kmの島を約9周、100km歩くイベントです。台風22号が接近中で、翌朝から暴風域・強風域に入る可能性が高くなり、大会当日の15時に大会の中断を決定しました。次回、皆さんとともに開催できることを願っています。

平成29(2017)年 10月28日(土), 29日(日)

開催場所/佐木島

参加者数/100人

主催団体/さぎ100実行委員会



### ● お寺のがっこう(3学期)



「学ぶ」をコンセプトに最終学期を迎えた「お寺のがっこう3学期」。天気にも恵まれ、参加者は着物の着付け、写経、ヨガ、坐禅などさまざまな教室を楽しんでいました。2日目には、訪日外国人約35名が参加され、坐禅、写経、折り紙、風呂敷の包み方講座、お寺の参り方を体験しました。

平成29(2017)年 11月4日(土)~6日(月)

開催場所/法常寺(西宮), 極楽寺(東町)

参加者数/250人

主催団体/みはらWEフェス事務局



## ● 磯田道史講演会



三原商工会議所会員大会を一般公開の講演会として実施しました。講師の歴史学者・磯田道史さんが「小早川隆景公が三原の経済に与えた影響」と題して講演され、「三原城は海城として、交易に便利がよく、火縄銃の攻めにも強い。この決断が三原の経済に及ぼした最大の影響である」と説明されました。

また、人工知能の時代となったこれからは、考えることこそが生き残る術であると話されました。

平成29(2017)年 11月7日(火)

開催場所／三原リージョンプラザ文化ホール

参加者数／355人

主催団体／三原商工会議所

連携

## ● ミハライダーズカップオートタムスペシャル2017



EBSというストライダー（ランニングバイク）を使って体験する、新しい幼児体育プログラムの体験イベントを行いました。子どもたちのさまざまな能力向上はもちろん、近い将来に必要な交通ルールや自転車マナーも意識した取り組みです。ミハライダーズカップ（ランニングバイクレース）の開催のほか、バイクトライアル元世界チャンピオンらによるパフォーマンスショー、飲食ブースの出店があり、会場は、親子連れでにぎわいました。

平成29(2017)年 11月23日(祝・木)

開催場所／三原駅前市民広場

参加者数／500人

主催団体／駅前広場盛り上げ隊

協議会



## ● “小早川水軍”に思いを馳せて歴史ある裸の島(宿禰島)上陸体験&amp;伝馬船漕ぎ体験ツアー



魅力満載の佐木島、小佐木島とともに、宿禰島を文化や観光を「古から未来への生き証人」として活用するため、10月21日に実施することを企画しました。

裸の島(宿禰島)上陸体験や伝馬船漕ぎ体験ツアー、小早川隆景公や裸の島のゆかりの地めぐり「思いを馳せる」ツアーの催行を予定していましたが、台風の接近で伝馬船漕ぎ体験ツアーは中止し、11月28日に島内の草刈りなどを実施し環境を整備しました。

平成29(2017)年 11月28日(火)

開催場所／宿禰島

参加者数／29人

主催団体／裸の島(宿禰島)を愛する会

市民活動  
チャレンジ

## ● 桜山散策ウォーク&amp;記念植樹



中世以前から「山城」があったと思われる桜山は、三原のまち、歴史を見てきた生き証人といえ、また、三原駅など中心部に近く、浮城などの歴史文化を育んだ三原の町並みが眺望できます。三原城跡や周辺の魅力を散策しながら桜山のウォーキングや、記念植樹などを行いました。

平成29(2017)年 12月3日(日)

開催場所／桜山

参加者数／103人

主催団体／NPO法人うきしろ桜山会

市民活動  
チャレンジ

### ● ミハラクラフトフェスタ450×ハローサンデーマーケット



三原を中心とした「ものづくり作家」が制作する布小物、陶芸作品など、手作り品の展示販売のほか、「三原だるま面相書き」や小早川家の家紋などをモチーフにした「型絵染体験」など、三原の歴史や文化に触れられる体験ブースが並びました。延べ325人の市民が制作に参加した手作りフラッグ(旗)がイベント会場を彩りました。県内初の開催となった国内最大級のハンドメイドマーケット「minne(ミンネ)」の講座には、県外からたくさんの参加者が集まりました。

平成29(2017)年 12月17日(日)

開催場所／三原駅前市民広場・ペアシティ三原西館2階

参加者数／3,000人

主催団体／みはらWEフェス事務局・cafe3g  協議会



## 事業の記録 その他編

### ● 特別テレビ・ラジオ番組の放送



三原城と小早川隆景公をテーマにした特別番組を放送しました。

#### テレビ番組

三原市ふるさと大使、谷原章介さんをナビゲーターに迎え、戦国屈指の知将と呼ばれた小早川隆景公と三原城の足跡をたどりました。

放送日 平成28年2月28日(日) 16時~16時54分

放送局 中国放送(RCC)

#### ラジオ番組

隆景公の魅力に迫りながら、築城450年事業や観光情報などのほか、三原神明市会場から生中継もありました。

放送日 平成28年2月13日(土) 18時~20時

放送局 中国放送(RCCラジオ)



### ● 小早川隆景ガイドブック



小早川隆景公に関する逸話や毛利家・小早川家の家系図、エリアごとに分けた隆景公ゆかりの史跡の紹介のほか、広域観光連携である三矢の訓協定を結び安芸高田市と北広島町の史跡なども掲載しています。隆景公の魅力を知ることができる一冊です。A5サイズ、オールカラー、18ページ。

平成28(2016)年 3月

設置場所／市役所、各支所、みはら歴史館など

参加者数／—

主催団体／瀬戸内三原 築城450年事業推進協議会



## ● やっさ踊り像の移設



三原内港東公園に設置していた「やっさ踊り像」をJR三原駅浮城広場(噴水近く)に移設しました。三原の祭りを代表する「やっさ祭り」のシンボルとなる「やっさ踊り像」は、観光客や三原駅利用者の写真撮影スポットとなっています。

平成28(2016)年 8月8日(月)

開催場所/JR三原駅浮城広場(噴水隣接)

参加者数/—

主催団体/瀬戸内 三原築城450年事業推進協議会

協議会

## ● 築城450年記念プロペラ除幕式



三原城築城450年を迎える記念すべき年に、世界へはばたく瀬戸内元気都市三原の更なる発展と繁栄を願い、推進力の象徴であるプロペラが今治造船株式会社から三原市へ寄贈され、除幕式を行いました。

プロペラの直径は、6.3m、品質はニッケルアルミブロンズ製で、重量は約20トンあります。

平成29(2017)年 2月10日(金)

開催場所/三原内港東公園

参加者数/100人

主催団体/今治造船株式会社

連携

## ● 記念ドラマ「知ればもっと好きになる」



三原城を築いた小早川隆景公について、息子に聞かれ、あまり知識のなかった父親。隆景公を知ろうと、ゆかりのある史跡を巡り、さまざまな人と出会う中で、自分たちの住むまちに対して、誇りや素晴らしさを感じていく様子をドラマ仕立てで表現。隆景公を分かりやすく紹介したドラマは、築城450年事業のオープニングで上映したほか、市内の小・中学校へ配布しました

平成29(2017)年 2月

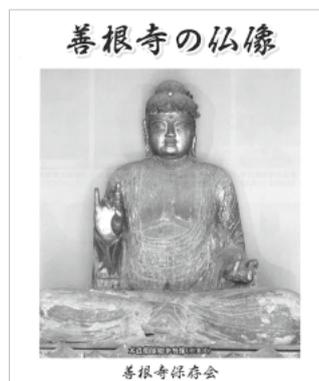
設置場所/—

参加者数/—

主催団体/瀬戸内 三原築城450年事業推進協議会

協議会

## ● 善根寺仏像パンフレットの作成



小坂町善根寺収蔵庫に保管されている28体の仏像は、大部分が平安時代の作で、広島県内でも非常に珍しく貴重な存在といわれています。これらの仏像は、一木造りで多くが県・市の重要文化財に指定されています。仏像の写真、一覧などを掲載したパンフレットを作成し、拝観者に配布しています。

平成29(2017)年 2月

開催場所/—

参加者数/—

主催団体/善根寺保存会

市民活動  
チャレンジ

### ● 古写真で見る三原情景Ⅲ



写真集は、本郷・久井・大和の三部からなり、編集には、市民学芸員が携わりました。

平成25年度から三原市歴史民俗資料館所蔵の古写真を整理し、「古写真で見る三原情景Ⅰ-吉原写真館の残したもの-」、平成26年度は「古写真で見る三原情景Ⅱ-大正から昭和のおゆみ-」の続編です。貴重な写真資料の中から本郷編57枚、久井編56枚、大和編34枚を選び計147枚で構成しています。各町の変遷を写真で見ることができます。

平成29(2017)年 2月

設置場所/—

参加者数/—

主催団体/三原市文化財協会

部会提案

### ● 三原城絵図古写真集



紙本著色備後国三原城下絵図の市重要文化財指定された絵図など8点を掲載し、絵図の解説を加えました。また、明治14(1881)年から昭和初期ごろに撮影された写真14点を掲載し、三原城跡などの様子をさまざまな角度から捉えた写真が掲載されています。A4版17ページ。

平成29(2017)年 2月

設置場所/—

参加者数/—

主催団体/瀬戸内三原築城450年事業推進協議会

協議会

### ● 八幡町美生盆踊り保存事業



八幡町美生の盆踊りは、毎年、蓮台寺において8月第一土曜日、8月14日の2回行われています。この盆踊りは、小早川隆景公と関連があることから広くPRするため、地域外からの参加者を募り、将来に向けた保存を目的として、盆踊りの動画、DVDを記録として保存したほか、道具類を新調しました。

平成29(2017)年 3月

開催場所/—

参加者数/—

主催団体/八幡町美生盆踊り保存会

市民活動  
チャレンジ

### ● 小早川隆景公とのゆかりを紹介する立看板の設置



天文24(1555)年の厳島の戦いの翌年に小早川隆景公が皇后八幡神社を再建しているなど、隆景公とのゆかりを紹介する立看板を皇后八幡神社境内に設置しました。

平成29(2017)年 4月

開催場所/皇后八幡神社境内

参加者数/—

主催団体/須波の歴史を守る会

市民活動  
チャレンジ

● 三原観光協会ホームページリニューアル



三原観光協会ホームページ「三原観光NAVI」のサイトをリニューアルしました。

メインとなるトップデザインをワイド化し、「見ただけで好きになる」ような画像を使用したほか、ニーズが高い情報を再分類し、分かりやすい位置に配置しました。

「毛利元就と小早川隆景」、「名物！たこと地酒」など、読み応えのある特集記事を編集し、宿泊施設の比較検討ができる宿泊サイト横断検索のある「旅くら」も導入しました。

平成29(2017)年 6月1日(木)

開催場所／—

参加者数／—

主催団体／一般社団法人三原観光協会

連携

● 小早川隆景の生涯 DVD制作



三原城を築城した小早川隆景という人物、功績を知ってもらい、三原への郷土愛を育んでもらうため、地元の偉人「小早川隆景公」の生涯をたどるDVDを制作し、市内の小学校22校に配布しました。

● タイトル「西国一の智将 小早川隆景」(28分)

● 1枚 2,500円

平成29(2017)年 6月

開催場所／—

参加者数／—

主催団体／「小早川隆景の生涯」を制作する会

市民活動  
チャレンジ

● 提灯点灯式



築城450年を盛り上げるため、JR三原駅北の三原城跡歴史公園に提灯55個を設置しました。7月5日(水)の点灯式では、設置者である三原商工会議所建設部会の赤利俊彦部会長が「提灯の光で演出された天主台、錦鯉が泳ぐお堀を、夜の散歩で楽しんでほしい。また、この場所がにぎわうよう、色々な場面に活用してほしい」と述べました。

19時のカウントダウンに合わせ、55個の提灯が公園内を彩りました。

平成29(2017)年 7月5日(水)

開催場所／三原城跡歴史公園

参加者数／35人

主催団体／三原商工会議所

連携

● 三原のいいお店大賞



三原商工会議所販売商業部会(沖藤洋造部会長)では、三原商工会議所管内の店舗で「小売業・サービス」、「飲食」の2つの視点から魅力的なサービス、商品、品揃え、接客などが優れているなど、満足度いっぱいのお店を募集しました。

58店舗の推薦があり、厳選した6店舗を入賞店に決定しました。入賞店については、チラシを11月に新聞に折り込み、市民に紹介するほか、同所ホームページでも紹介しました。

平成29(2017)年 10月

開催場所／三原市内

参加者数／—

主催団体／三原商工会議所

連携

## ● お好みマップ



三原独特のお好み焼き文化を継承していくため、お好み焼店のマップを作成しました。

三原では、麺入りのお好み焼きのことを「モダン焼」と呼びますが、これは、関西地方独特の呼び方で、広島県内では珍しいものです。

一時は、市内には100店舗以上のお好み焼店があったようで、人口当たりの店舗数は県内でもトップクラスでした。現在は、約70店舗となっています。

平成29(2017)年 12月

開催場所／三原市内

参加者数／—

主催団体／三原商工会議所

連携

## ● お城EXPO2017共同出展



一大ブームになりつつあるお城めぐり、城郭めぐり。お城にまつわる貴重な史料展示やスペシャルゲストによる講演会など、お城の知識を深めるお城イベント「お城EXPO」。日本100名城などの関係団体などが出展しました。

平成28年に続いて、毛利元就「三矢の訓」連携会議として、安芸高田市、北広島町とともに共同で、出展を行いました。今回、三原城、新高山城が、続日本100名城に選定されたことで、説明パネルを新たに展示しました。

平成29(2017)年 12月22日～24日

開催場所／パシフィコ横浜

参加者数／19,100人

主催団体／瀬戸内 三原築城450年事業推進協議会

協議会

## ● 観光客誘導表示板の設置



JR三原駅から三原城跡天主台や三原港などへ誘導する観光案内シートを駅周辺に設置しました。

駅から三原城跡天主台には、堀に放流された錦鯉を、また、港へは佐木島の灯台が「恋する灯台」に認定されたことや外国人観光客に人気の大久野島のウサギをモチーフにしたイラストを取り入れました。

目的地へ向けた矢印や距離のほか、英語表記も加えて外国人にも分かりやすくしています。

平成30(2018)年 3月

開催場所／—

参加者数／—

主催団体／瀬戸内 三原築城450年事業推進協議会

協議会

## ● 武内俊子リーフレット



「かもめの水兵さん」「赤い帽子・白い帽子」「船頭さん」など、日本を代表する童謡を創作した三原市出身の武内俊子(1905年～1945年)を紹介するリーフレットを作成しました。

代表作「かもめの水兵さん」などの歌詞のほか、記念碑など、ゆかりのある場所を示した地図も掲載しました。

A4版3つ折、両面カラー印刷、2万部作成。

平成30(2018)年 3月

設置場所／市役所、各支所、市内道の駅、みはら歴史館など

参加者数／—

主催団体／瀬戸内 三原築城450年事業推進協議会

協議会

## ● 音声ガイド機器の設置



道の駅「みはら神明の里」に三原市の魅力を紹介した音声ガイド機器を設置しました。機器の大きさ:縦16cm, 横20cm, 高さ40cmで、ボタンを押すと童謡「かもめの水兵さん」が流れた後、ナレーションが流れる仕組みになっています。日本語と英語の2バージョンで、日本語のナレーションは、映画「やささだるマン」出演の声優・竹達彩奈さんが担当しました。

また、機器上部には、「かもめの水兵さん」作詞の三原市出身の武内俊子さんと映画「やささだるマン」の説明パネル(25cm×62cm)を設置しました。

平成30(2018)年 3月

開催場所/道の駅みはら神明の里

参加者数/—

主催団体/瀬戸内 三原築城450年事業推進協議会

協議会

## ● 観光情報デジタルサイネージの設置



三原市の観光情報など流すデジタルサイネージをJR三原駅隣接のうきしろロビーに設置しました。ディスプレイの大きさは43V型(96.5cm×55.9cm)です。

デジタルサイネージとは、駅や公共施設など、人が集まりやすい場所に、ポスターなどの代わりにディスプレイを設置し、動画、写真、文字などを組み合わせた情報を見ることができものです。ネットワークに接続しており、タイムリーな情報発信が可能になりました。

観光情報やイベント情報などを発信することで、三原を訪れた観光客にさまざまな情報を発信していきます。

平成30(2018)年 3月

開催場所/うきしろロビー

参加者数/—

主催団体/瀬戸内 三原築城450年事業推進協議会

協議会

## ● みはらの食べるもん物語「みはらたべるにゃん」



市内全飲食店を掲載したグルメ本「みはらたべるにゃん」を5,000部作成しました。喫茶、洋食、居酒屋、和食、お好み焼きなど7ジャンルに分けて、市内のお店を写真入りで紹介しました。また、各ジャンルの冒頭には、今はなき名店や懐かしい写真を織り交ぜながら、長年続くお店を掲載しています。市内全743店舗(平成28年保健所登録)のうち、企画趣旨に賛同いただいた126店舗を掲載。

A5 67ページ、定価200円(税込)。三原商工会議所ほか、市内の書店などでも販売の予定。

平成30(2018)年 3月

開催場所/—

参加者数/—

主催団体/三原商工会議所

協議会

## ● 観光プロモーション映像



県外や海外からの誘客を促進するため、観光プロモーション映像を作成しました。ストーリー仕立てのPR動画は、亡き父の故郷である三原を母と息子で旅するストーリーで、オリジナルの曲が流れる中、三原の観光名所などを紹介。

そのほか、景観、食、祭りの3つのテーマで紹介した映像を制作したほか、それらをまとめた5分程度の観光PR映像も制作しました。英語、中国、ハングルなどの字幕で多言語(6カ国語)にも対応し、YouTubeなどで配信します。

また、築城450年事業の記録映像などを制作しました。

平成30(2018)年 3月

開催場所/—

参加者数/—

主催団体/瀬戸内 三原築城450年事業推進協議会

協議会

協議会

のぼり・幕



築城450年事業横断幕



懸垂幕



築城450年版幟旗

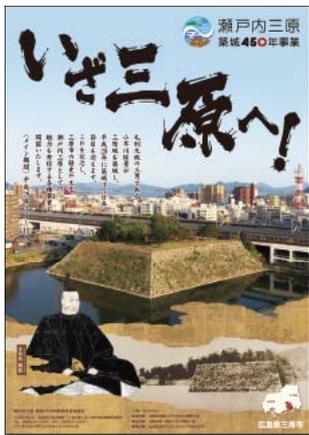


築城450年版幟旗

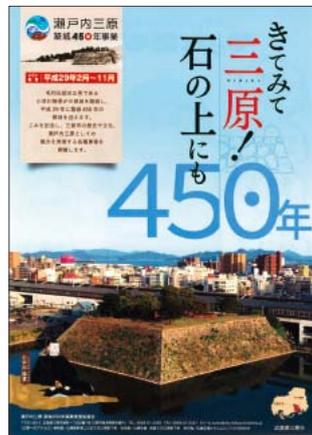


WEフェス 幟旗

ポスター・チラシ



「いざ三原へ」ポスター



「石の上にも450年」ポスター



「なんでも鑑定団」ポスター



「石の上にも450年」チラシ



築城450年事業チラシ



「ゆるキャラグランプリ」ポスター

情報誌・ガイドブック



「浮々城々」創刊号～4号



「浮々城々」5号～8号

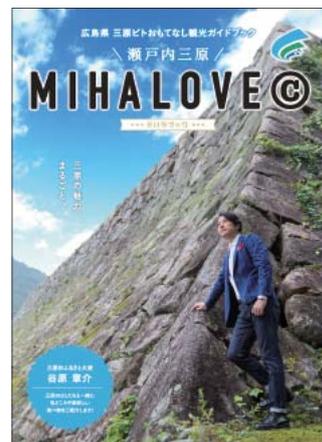
「浮々城々」準備号  
いよいよ号・これから号



「浮々城々」9号～12号



450年公式ガイドブックvol.1・vol.2



観光ガイドブック ミハラブック

新聞広告

中国新聞全面広告



公用車・たる募金



マグネットシート



バナー



やささだるマンラッピング車



たる募金

PRグッズ



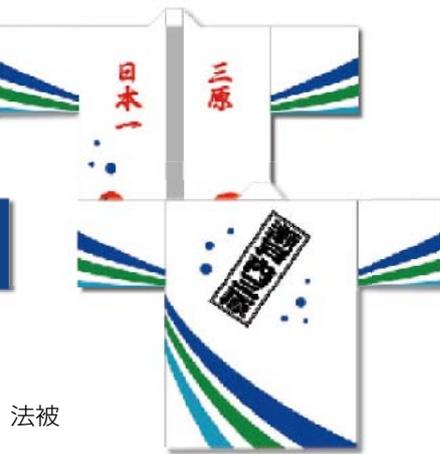
Tシャツ(前)



Tシャツ(後)



トートバック



法被



紙袋



カープメモ帳



カープコラボタオル



ステッカー



うちわ



ロゴマークピンバッジ



ボールペン



扇子



メモ帳



クリアファイル



ビニール袋



配送用段ボール



ステッカー(大)(小)



ペーパークラフト



マンホールカード



折り紙



ミニティッシュ

事業者等



幕の内  
「三原浮城弁当」



浮城まんじゅう



純米吟醸  
「いざ三原へ！」



純米酒  
「いざ三原へ！」



ネクタイ



記念切手



みはら浮城浪漫CD



隆景音頭CD・DVD



隆景メダル



隆景クリアファイル



缶バッジ



型染ハンカチ



木製ストラップ



ストラップ



マグカップ・コースター・革製品など